



Power
Learn
Project



アフリカにおけるテックの未来を解説：

#1MillionDevs4Africa

インパクトレポート

2022-2023

夢をコーディングし、現実を構築

目次

はじめに.....	3
取締役会からのメッセージ	4
チーフ・グロス・アンド・オペレーションズ・オフィサーからのメッセージ.....	5
私たちは	7
私たちの価値観	8
KPI	9
変革の理論	16
100万人のデブス・プログラム	18
概要	18
16週間の技術トレーニングプログラムに期待される成果	19
仕組み	21
対象学習者	23
プロジェクトベースの学習	24
学習者の成功と課題	25
学習者ストーリー	27
地域立ち上げとコミュニティ形成の旅.....	32
立ち上げとコミュニティ形成の旅	33
コミュニティとパートナーシップの構築.....	38
ベンチャー企業の立ち上げ	39
パートナー	45
コンプライアンス、透明性、ガバナンス	50

「人生で大切なのは、ただ生きてきたという事実ではありません。他人の人生にどのような違いをもたらしたかです」

ネルソン・マンデラ
元南アフリカ大統領



「団結は私たちが豊かにするものではありませんが、アフリカとアフリカの人々が軽視され、屈辱を受けることを困難にすることができます。それゆえ、私たちの発展のために決定し、実行しようとするものの有効性を高めることができます。私の世代は、アフリカを政治的自由へと導きました。アフリカの指導者と現在の世代は、揺らめくアフリカの自由の松明を拾い上げ、彼らの熱意と決意で松明に燃料を補給し、それを前に運ばなければなりません」

ムワリム・ジュリウス・ニエレレ、タンザニア元大統領

はじめに



Power Learn Projectは、アフリカの若者の潜在能力を引き出すことができる、手頃で利用しやすい、質の高い技術ベースのトレーニングを提供することに専念している社会的インパクト組織です。私たちは、技術教育や雇用の障壁を経験している18～35歳の助けを必要とする若者たちに、デジタル市場に参加する能力を高めることを目的とした技術トレーニングで再チャンスを与えることで、力を与え、支援したいと考えています。私たちの技術トレーニングプログラムは、16週間で平均週30時間のパートタイムプログラムです。参加者は、業界ツールを使用したアジャイル環境でコーディングを学び、開発者やIT部門で有意義なエントリーレベルの雇用を見つけるために必要なソフトスキルを学びます。

パワー・ラーン・プロジェクト・インパクト・レポートは、2021年11月から2023年10月までに実施された「100万人開発者プログラム」と技術研修プログラムの活動のインパクトについて説明します。この期間、当団体は主に4つの分野で活動しました：技術カリキュラムの支援 汎アフリカの経験を構築しながら、技術開発と技術トレーニング、100万人の開発者地域プログラムの立ち上げ、コミュニティとパートナーシップの構築、ガバナンスと政策介入を支援しました。

私たちは、2022年6月までにケニアの5つの郡（シアヤ、ナクル、エルドレト、キアンブ）に「100万人の開発者プログラム」の影響を拡大することを目標としました。半年間で、ケニア全土から1,000人以上の応募者を集めました。2022年末までに、南アフリカ、ザンビア、タンザニア、ナイジェリアへと地域を拡大し、アフリカ大陸全体で技術スキルを利用できるようにするという目標を達成しました。現在、このプログラムには4,000人以上の卒業生がおり、アフリカでは10,000人以上が登録しています。

理事会からのメッセージ

PLPは、デジタル技術を通じてアフリカの若者のエンパワーメントを行うことで、デジタル化、自動化、コネクテッド化が進む世界における新たな機会を活用できるよう、若者の物語を変え、その位置づけを変えていきたいと考えています。デジタル技術は、アフリカ大陸が直面している大きな不平等への対処、気候変動の管理、食糧生産の増加、教育の改善、医療へのアクセスの増加、さらには選挙の民主化に必要な触媒です。

私たちの理事会としての役割は、Power Learn Project (PLP)がソフトウェア開発を通じてアフリカの若者に力を与えるという使命のもと、その組織に対してガバナンスと戦略的監督を行うことです。私たちは、デジタル・スキルが若者の潜在能力を引き出すプラットフォームを作り出し、コラボレーションや大陸全体への関与、ハイテク・エコシステムやデジタル技術の成長への関心をさらに喚起すると信じています。

技術に精通した若い人口と急成長する技術系スタートアップのエコシステムにより、アフリカの若者は、汎アフリカ主義と第4次産業革命が形作られつつある今、未来との共鳴を呼び起こしました。PLP理事会としては、2023年9月6日にナイロビで開催されるアフリカ気候サミット（ACS）において、アフリカの首脳が気候変動に関する対話においてアフリカの権威を主張したように、デジタル技術における変革のアジェンダを引き受けられることを嬉しく思います。

PLPは、デジタル経済を活用して大陸全体の貿易を活性化させるとともに、大陸で増加する若年層に新たな機会を創出することを目指し、若者のデジタル化の問題を精力的に扱っていきたいと考えています。

大陸におけるビジネスの未来は、単一のデジタル市場です。テクノロジーに大きな役割が与えられているにもかかわらず、アフリカ大陸はインフラ不足、資金不足、予測不可能な政策や規制、スキル格差、投資家向けのデータ不足といった課題に直面し続けており、これがアフリカのテック・エコシステムの成長を妨げる要因となっています。

PLP理事会は、リソースを結集し、PLP経営陣の後ろ盾となって物事を成し遂げることで、組織を絶え間なくサポートします。私たちは、PLPが複雑な政策を乗り越えていく際に組織を指導し、PLPのアジェンダを推進することができる政策を採択していることを確認します。

PLPの目標を実現するために、技術エコシステムに参加してくださったすべてのステークホルダーの皆さまに感謝いたします。また、地域浸透と立ち上げのプロセスを通じて、私たちの組織に与えてくださった揺るぎない支援に対して、すべての寄付者とパートナーに感謝したいと思います。皆さまのおかげでここまで来ることができました。



チーフ・グロース・アンド・オペレーション ・オフィサー (C.G.O) からのメッセージ

アフリカは、未開発の若者の潜在能力が豊かな大陸であり、デジタル技術における無限の機会と可能性を若者に与えています。テクノロジーは、この世代で何が可能か、何が達成可能かという限界を押し広げ続けています。デジタル・スキルは、アフリカにおける仕事の未来を再構築する上で、変革的な役割を果たすでしょう。アフリカにおける仕事の未来は、ギグ・エコノミーやリモートワークによって特徴づけられるでしょう。資金不足にもかかわらず、スタートアップ企業がアフリカで成長していることを認めなければなりません。これはすでに伝統的な産業における雇用機会に挑戦しており、テック・スペースが持続可能な雇用を創出できることを認めなければなりません。若者の失業や不完全雇用に対処するためには、アフリカの若者のニーズに合うような一律のアプローチはもはや不可能であることを認めなければなりません。アフリカ大陸の新興企業に対する開発者の現在の割合は、持続不可能です。したがって、私たちは、より多くの人々が人材プールに加わり、技術ビジネスが繁栄するのを助けるために、より多くの開発者トレーニングが必要なのです。

パワー・ラーン・プロジェクトは、開発者のトレーニングに新たな章を開き、デジタル市場に参加するために必要な人材のプールに影響を与えました。PLPの目標は、ソフトウェア開発のトレーニングを通じて、100万人のアフリカの若者に技術スキルを身につけさせることです。私たちは、革新的なソリューションを生み出すためにアフリカの若者の潜在能力を引き出すことができる、市場で通用する技術スキルを若者に身につけさせたいと考えています。この前提のもと、Power Learn Projectは、アフリカのための100万人開発者プログラム (# 1 million devs 4 Africa) と名付けられた旗艦プログラムを立ち上げました。100万人の開発者プログラムは、ソフトウェア開発のトレーニングを通じて、100万人のアフリカの若者に技術的スキルを身につけさせることを目的とした技術ベースの奨学金プログラムです。

私たちは、社会的企業やテック・スペースで認知されている4つの重要な戦略を採用し、アフリカ全土にインパクトを与え、大規模な変化を引き起こす触媒となっています。これらの戦略を採用することで金融へのアクセス、市場へのアクセス、好意的な政策、雇用と人材、これらの戦略を採用することで、私たちは1年間で少なくともアフリカ6カ国に地域プレゼンスを拡大することに成功しました。第1期生は約700名、第2期生は4,000名を超える学習者が卒業し、デベロッパー・スペースの大きな可能性を示しました。PLPは、アフリカ地域全体で年間3万人以上の学習者を登録したいと考えています。

私たちの使命の達成に向け、比類なき支援と指導をしてくださった理事会に感謝しています。また、パートナーからの多大な支援にも感謝します。さらに、アフリカ全土の現在の学習者と同窓生の皆さまが、夢を描き、PLPを選択し、デジタル経済の巨大な可能性を活用してくださっていることに感謝いたします。私たちは、100万人開発者プログラムと私たちの成長する技術エコシステムを通じて、現在そして未来の学習者のニーズに応えるよう努力することを約束したいと思います。最後に、コンサルタントも含め、PLPのチームが献身的にサービスを提供し、私たちの変革の旅の一部となってくれたことに感謝したいと思います。

ムンビ・ンドウング
チーフ・グロース&
オペレーションズ・オフィサー

「それゆえ、私たちは大胆な一歩を踏み出し、世界の成長の柱として、世界に誇れる地位を得るために戦わなければなりません。私たちの物語を発展させ、従来の考え方やパラダイムに挑戦しなければなりません。私たちは、団結を通じて、汎アフリカ主義における祖先と国民の情熱を再び燃え上がらせなければなりません、自立、統合、連帯」

Dr. Nkosazana
Dlamini-Zuma
南アフリカ



MUMBI NDUNG'U
チーフ・グロース&オペレーション・オフィサー

概要

ビジョン

アフリカにおける技術者育成のリーダー。

私たちの使命

パワー・ラーン・プロジェクトは、包括的な人材開発、就職斡旋、アドボカシー活動などを通じて、アフリカの若者に市場で通用する技術スキルを身につけさせることを目的とした社会的インパクト組織です。

コア・マנדート

パワー・ラーン・プロジェクトは、能力開発、メンタリング、ネットワーキングを通じてアフリカの若者のエンパワーメントを確信しています。私たちの基本目標は以下の通りです：

- 質の高い分散型技術トレーニングの提供を通じて、100万人以上のアフリカの若者にソフトウェア開発のトレーニングを行い、能力を育成すること。
- Pythonからブロックチェーン入門まで、幅広いプログラミング言語について16週間の自習型オンライン初級トレーニングを提供する技術トレーニングプログラムを設計すること。
- 訓練を受けた若者に職業斡旋の機会を提供し、実践的な実務経験を積ませるために、民間企業を結びつけるエコシステムを構築すること。



パワー・ラーン・プロジェクト・チーム ケニア、ナイロビ本社にて

私たちの価値観

慈善活動

P私たちは、以下を通じ、アフリカに社会的・経済的インパクトをもたらすことを確信しています。技術研修プログラム私たちは、アフリカに望む変化を生み出すために、汎アフリカ主義の原則を受け入れています。

リーダーシップ

L私たちは戦略的リーダーシップを信じています。PLPは、アフリカの地域チームだけでなく、国内事業にもリーダーシップと戦略的方向性を提供するように努めます。

完全性

I私たちは真実と正直さを信じます。PLPは最高のモラルを堅持します。その任務の遂行にあたっては、業務のあらゆる側面における透明性と説明責任を含め、倫理的基準を遵守します。

アクセシビリティ

A私たちは、アフリカの若者がコーディング言語やソフトウェア開発にアクセスできるようにすることを信じています。

パートナーシップ

P私たちは、学習者、サービス提供、そして技術コミュニティの構築を大切にしています。PLPは、チーム全員が尊厳とプロフェッショナリズムを持って扱われることを保証しながら、協力し合うことを信条としています。

教育

E私たちは、アフリカの若者に技術的な知識を提供し、実践的に学ぶことに重点を置いています。



KPI一覧

地域プレゼンス

2022年
アフリカ
の5カ国
に拡大

5

ケニア
ザンビア
ナイジェリア
タンザニア
南アフリカ

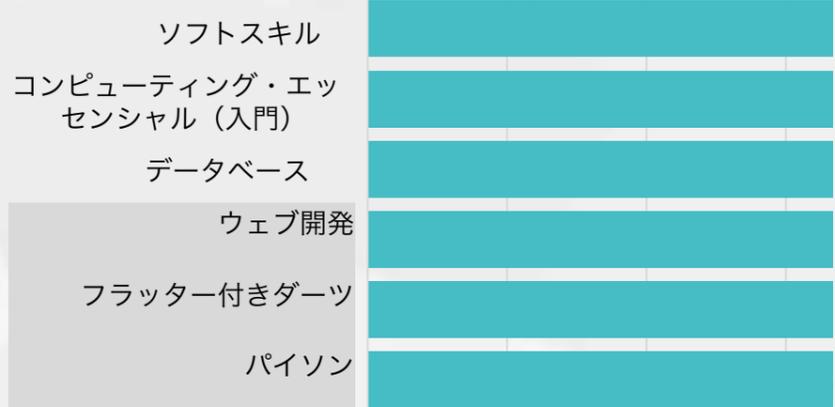


16週間の学習モジュールに統合された
ソフトウェア開発コースの数

4

コーディング言語

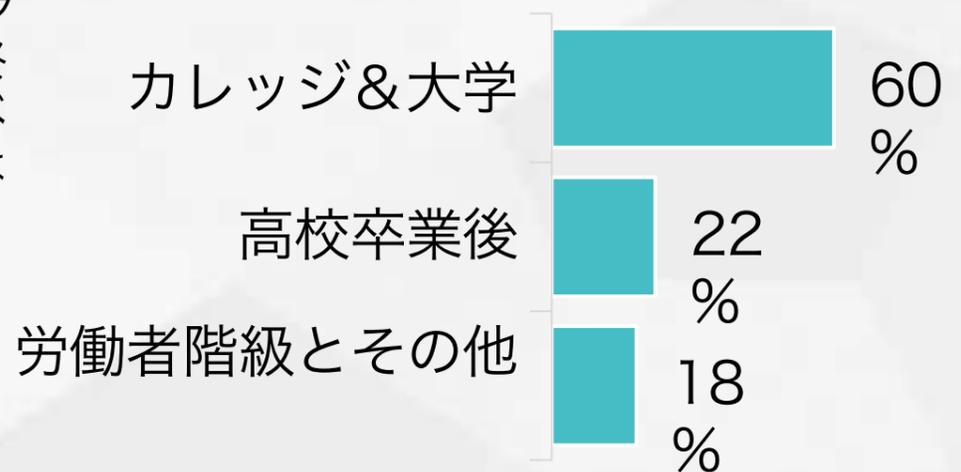
トレーニングプログラムの採用



100万人の開発者プログラムの主要対象学習者数

最も成功した学習者は大学生と社会人です。これはそれぞれ約66.9%と20.1%でした。パワー・ラーン・プロジェクトの卒業生のうち、中等教育終了後の学習者は、他の学習者プロフィールに比べて退学する傾向が強く、その結果、卒業したのはわずか13%でした。

対象学習者

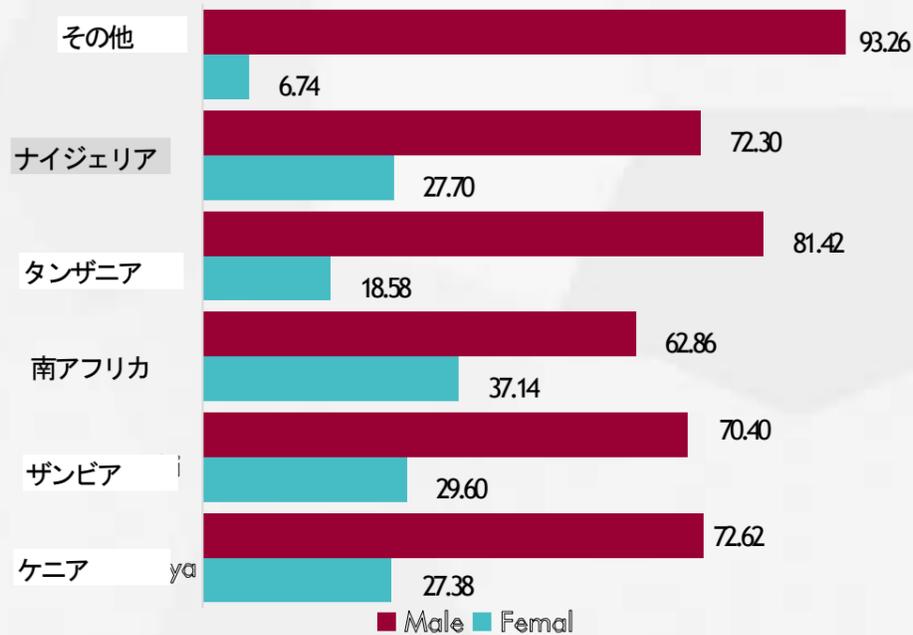


5,000人以上の
カレッジ&大学生

学習者の男女比

1,513
女性の受益者
3,532
男性受益者

地域別男女分布



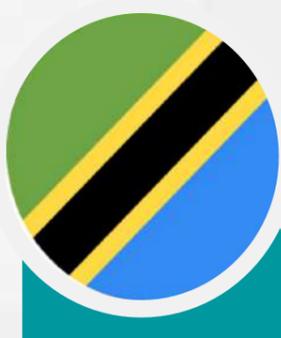
地域別で卒業を成功させた学習者の数

5,000人以上
アフリカ全土で
学習者が卒業

国別卒業生数




1,800
以上
学習者
ケニア出身



900
以上
学習者
タンザニア
出身



少なくとも
500
学習者
南ア出身



少なくとも
500
学習者
ナイジェリア
出身

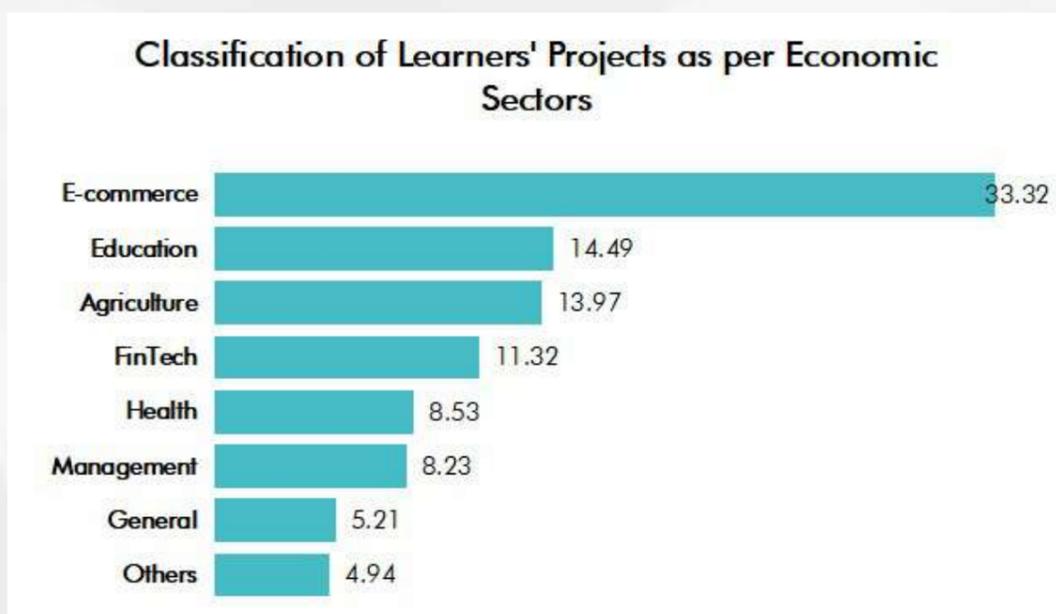


少なくとも400
学習者ザンビア出身

学習者が提出したプロジェクトの数



経済部門別学習者プロジェクト完了数

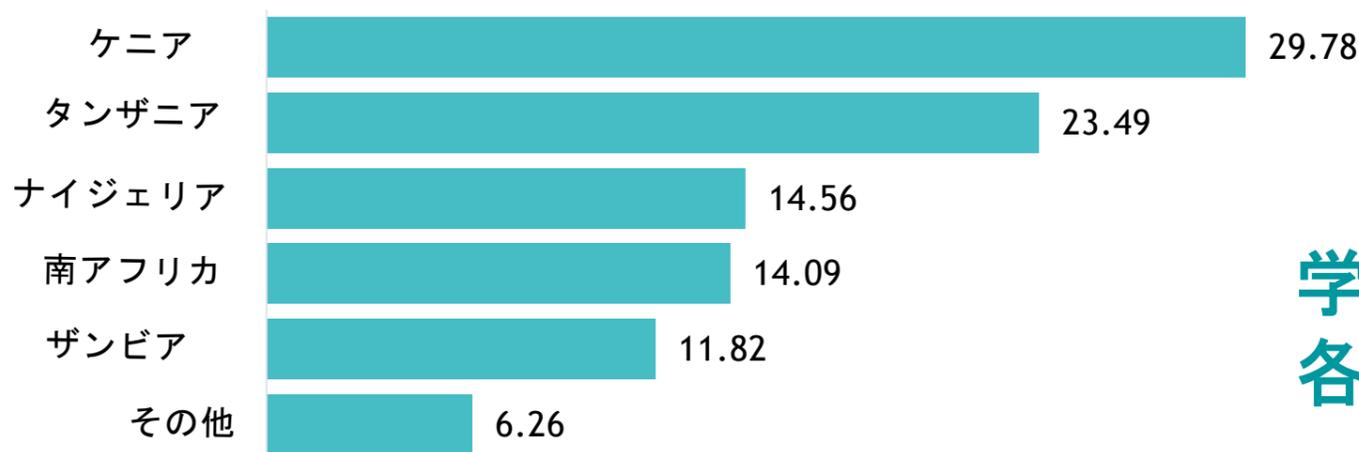


学習者が完成させたEコマース部門

1,300
以上の
プロジェクト

卒業生のインターンシップ参加者数

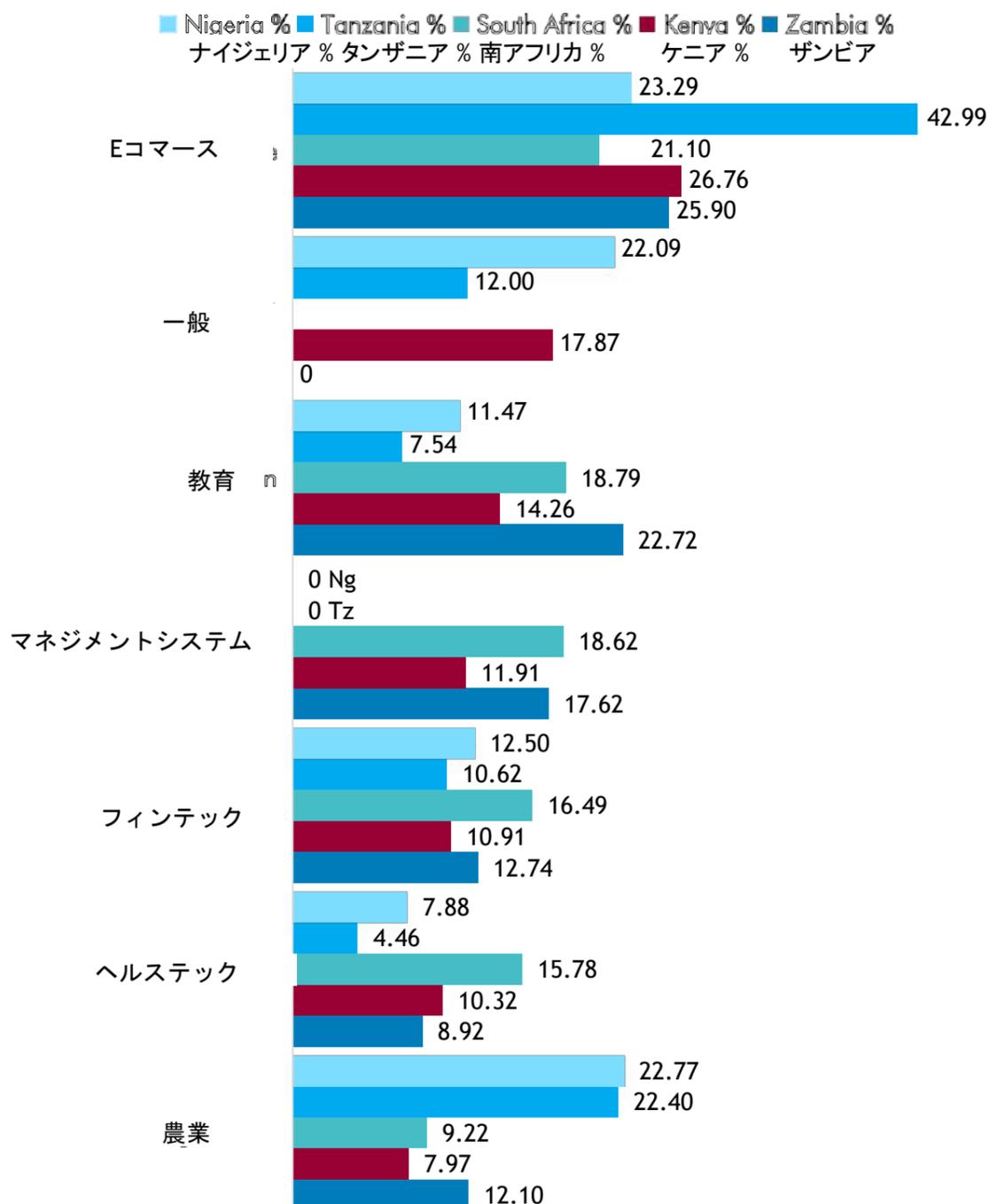
国別卒業予定者数



700
以上の
学習者がアフリカ
各地でインターン
シップを確保

地域別学習者プロジェクト完了数

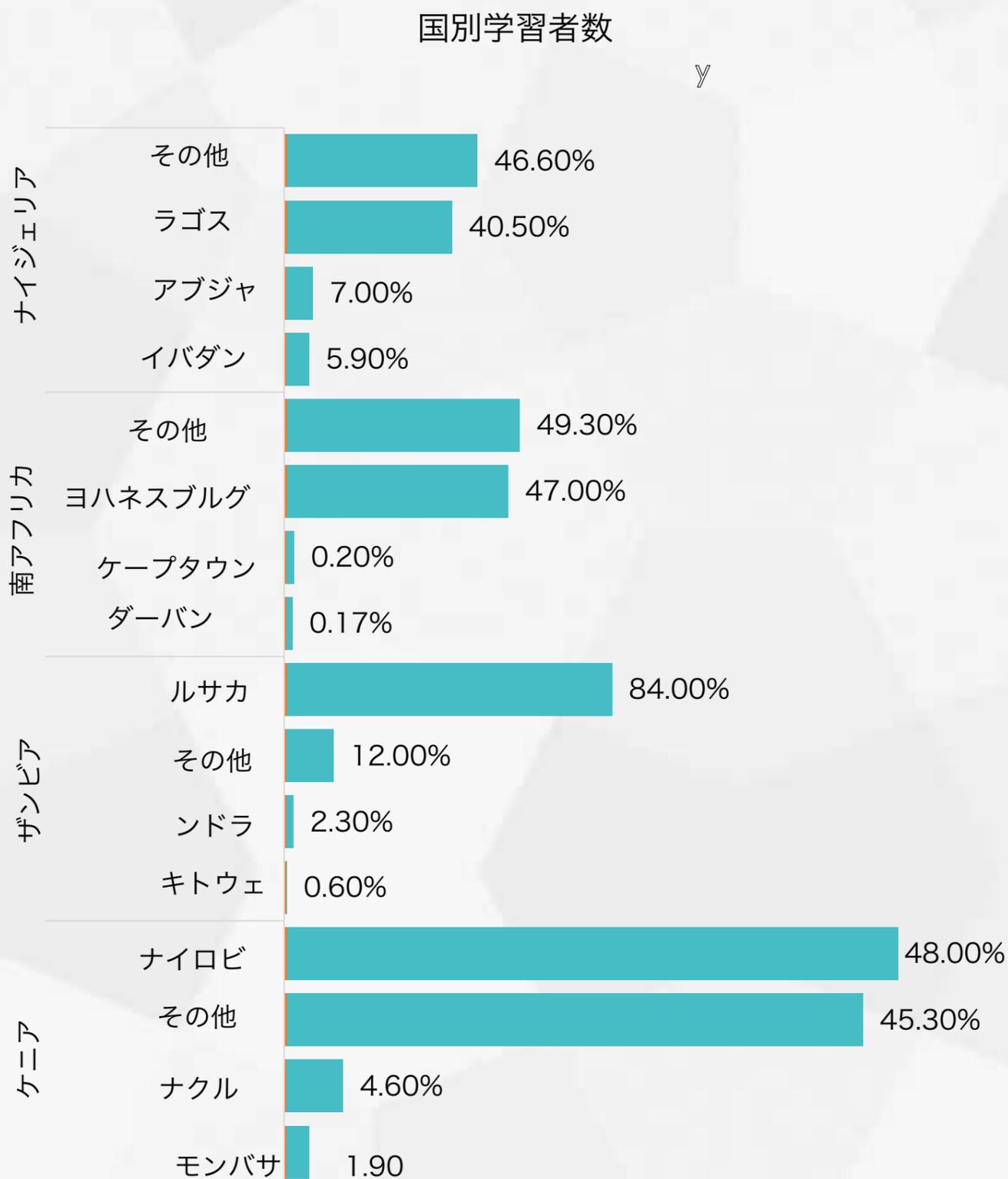
地域別学習者プロジェクトのセクター分類



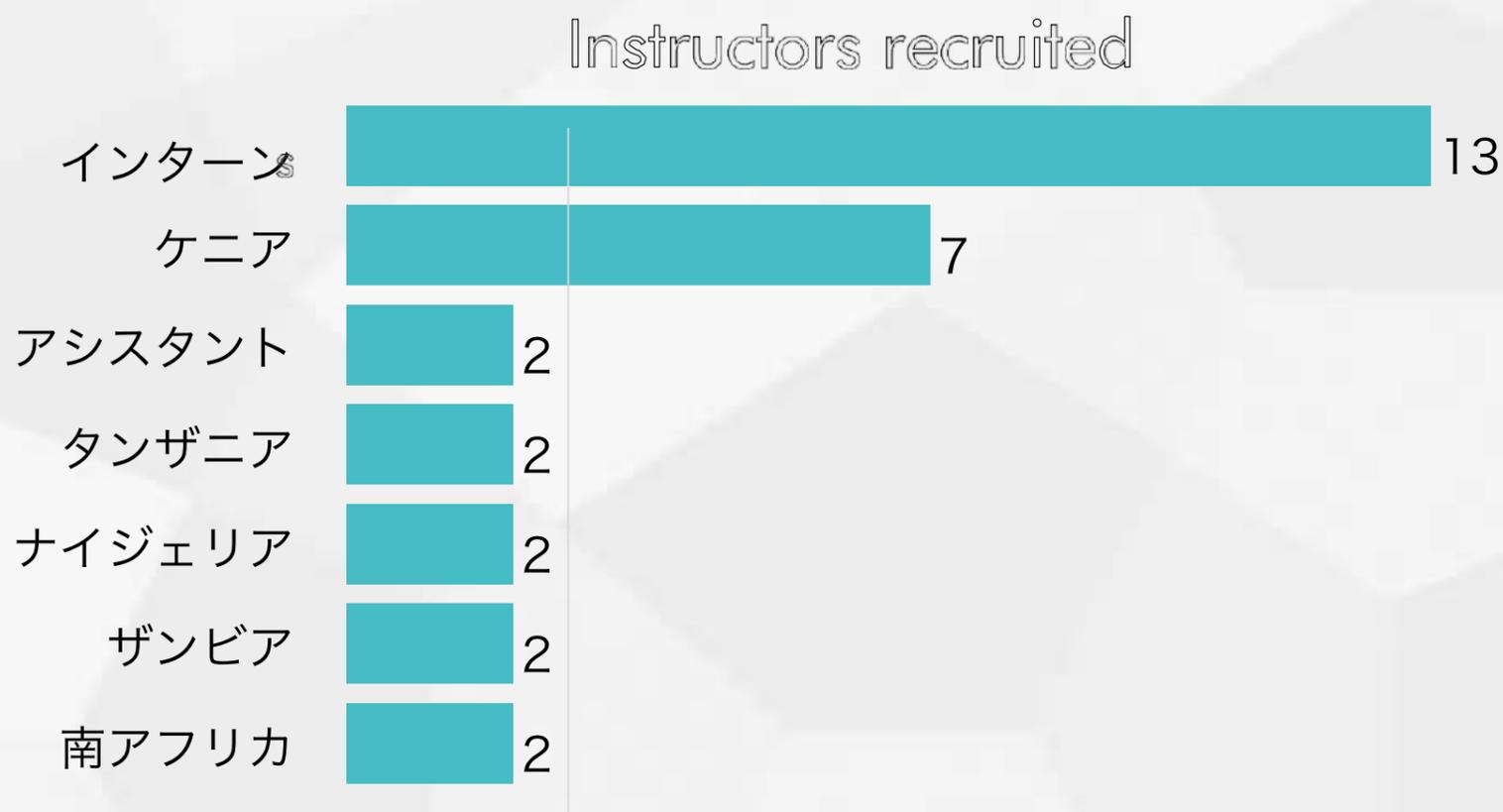
26
各地域で資金提
供を受け、イン
キュベーション
段階にあるプロ
ジェクト

KPI一覧

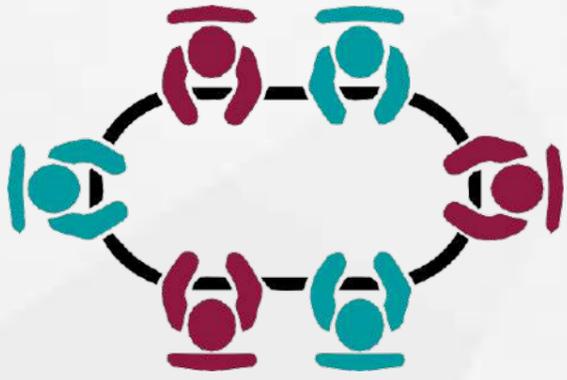
アフリカ主要都市における学習者登録数



インストラクターの採用数と研修数



統計



40+
グロース・パートナーズ



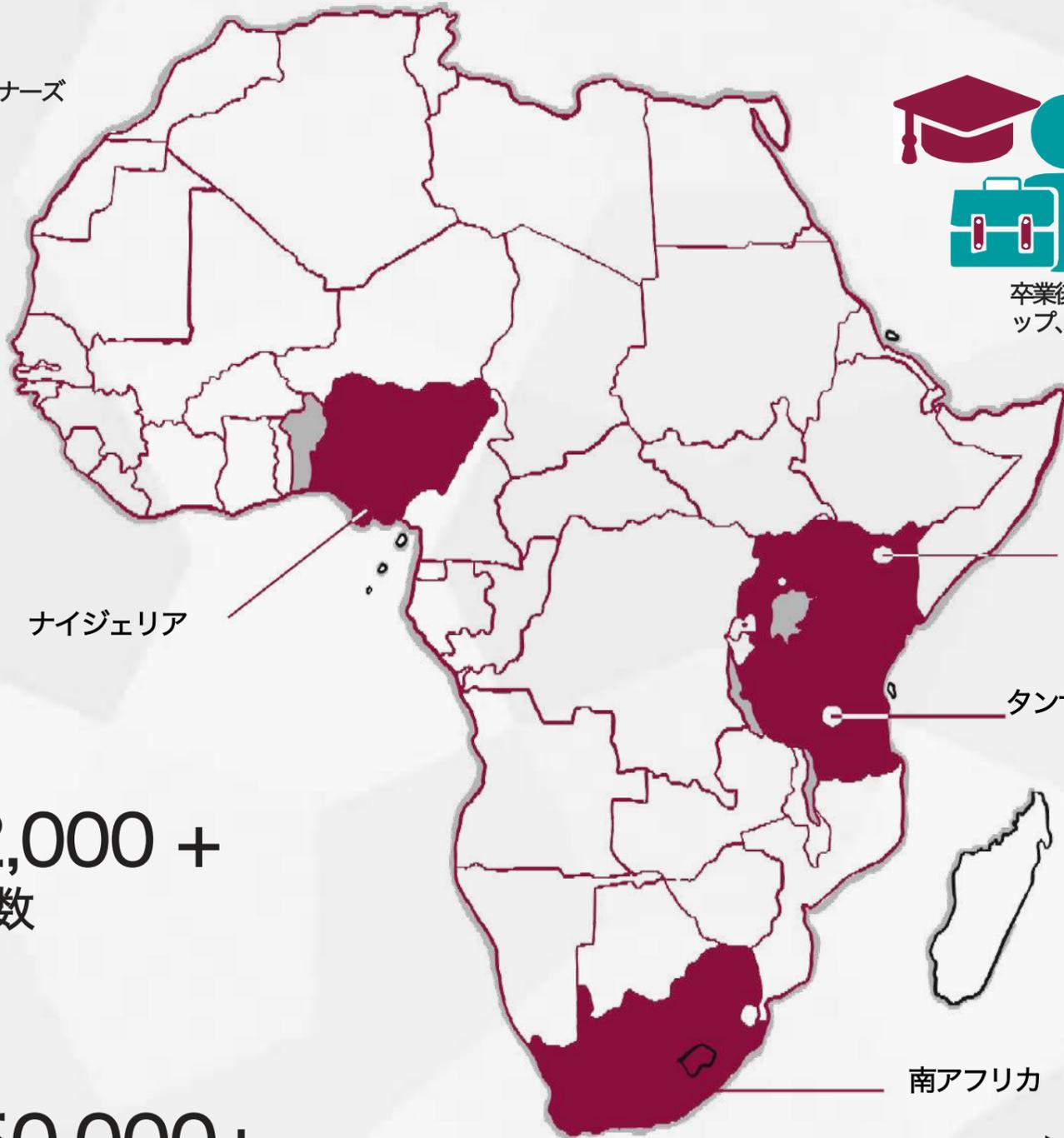
5,000
学習者



60
地域別スタッフ



9,000 +
入学者数



63%

卒業後の仕事、インターンシ
ップ、スキルアップ、スター
トアップの創設者



12,000 +
応募総数



50,000+
活気あるコミュニティ



合計所得の見積もり
> 80億ドル
2028年までの学習者たちの年収



>300
パワー・ラン・プロジ
ェクトでの直接または間
接的な仕事の機会



第三世界とは心の状態であり、アフリカ人としての態度を変えない限り、第四、第五、第六世界があったとしても、私たちはその中にいることになるでしょう。

若者は、どの国の政治・経済情勢の真のバロメーターです。あなた方は明日からではなく今日からのリーダーになってください。

PLO Lumumba

私たちの変革理論

ゴール

パワー・ラーン・プロジェクトは、技術トレーニング、メンタリング、才能開発、ネットワーキングを通じて、100万人のアフリカの若者に力を与えます。



私たちが達成
すること

雇用率の
向上

仕事の
パフォーマンス
の向上

起業家精神と
革新性の向上

技術的な知識とスキルの
向上

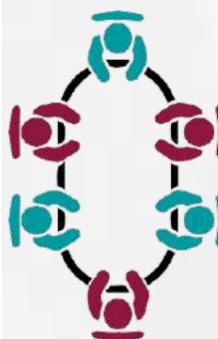
雇用能力の
向上

業界への露出
とネットワークの拡大

問題解決能力とイノベーション能力の向上

チームワークとコラボレーションの強化

お届けするもの



どのように提供
するか

- 1,000,000人以上のアフリカの若者を対象に、ソフトウェア開発のトレーニング、能力向上、能力開発を行います。
- プログラミング言語の初歩的なトレーニングを16週間、自分のペースでオンラインで提供する技術研修プログラムを設計。
- 訓練を受けた若者とテクノロジー業界の主要な利害関係者との間にパートナーシップを育むエコシステムを構築すること。
- パワー・ラーン・プロジェクトの地域的プレゼンスを拡大し、組織のガバナンス、パートナー、アドボカシー、トレーニング、資源の利用と安全性におけるベストプラクティスの確立を促進する強力なガバナンス構造を開発すること。
- PLPのビジョンとミッションの実現に貢献できる技術的専門知識、経験、スキルを持った有能な人材を確保し、雇用すること。
- PLPの基本理念、価値観、一般業務に沿った正確な財務、計画、予算のシステムと手順を実施すること。

高等教育の学習者（カレッジや大学）：すでに高等教育に参加し、技術スキルに関心を持っている学習者。

ワーキングクラスとアップスキリング学習者：高等教育を卒業し、すでに働いている、または求職中で、デジタルスキルのスキルアップに関心がある学習者。

高校卒業後の学習者：高校を卒業した学習者で、技術スキルに関心があり、ソフトウェア開発のトレーニングを受ける資金がない人たち。

対象学習者





「若者が直面する多くの障害にもかかわらず、彼らは常に希望に満ち、雇用市場に参入し、社会に大きく貢献することができる」と楽観的です。彼らは、グリーンテクノロジーなどの成長分野を含め、自ら機会を創出し、起業家になることをますます重要視しています」

サハレ=ワーク・ゼウデ大統領（エチオピア）

100万人の開発者プログラムの概要

アフリカの人口は世界で最も若く、サハラ以南のアフリカの70%が30歳未満です。このような若者の多さは、アフリカ大陸の成長にとって好機です。しかし、このような新しい世代が最高の潜在能力を発揮できるよう、十分な権限を与えられている場合に限りです。特に重要なのは、若者が意思決定に参加し、仕事と技術革新の適切な機会を与えられることです。統計によると、若者の60%が失業または不完全雇用の状態にあります。2030年までに、アフリカ大陸全体で2億3,000万人の雇用が、ある程度のデジタルスキルを必要とすると推定されています。したがって、アフリカの若者が確実に雇用を確保し、あるいは自ら生計を立てられるようにすることは、アフリカの政策立案者が直面する最も重要な課題のひとつです。COVID-19の大流行によってデジタルトランスフォーメーションのペースが加速し、従来のやり方からの不可逆的な転換が進んでいます。デジタル・スキルの需要は急激に高まっており、十分なトレーニングを積んでいない個人や企業は変化のペースについていけません。

国際金融公社（International Finance Corporation、IFC）およびグーグルによる「E-Conomy Africa 2020」レポートでは、アフリカのインターネット経済が2025年までに1800億ドルに達し、アフリカ大陸のGDPの5.2%を占めると予測しています。2050年には、アフリカ大陸のGDPの8.5%にあたる7,120億ドルに達する可能性があります。この成長の原動力となっているのは、成長し続ける技術者の人材プール、活気あるスタートアップのエコシステム、デジタル時代に成人した大陸の若く成長著しい人口です。若者は、起業家、開発者、従業員として成功するために、雇用主が求めるデジタル知識とスキルを備える必要があります。アフリカの若者は、相互の結びつきが強まり、急速に変化する世界を乗り切るために、デジタル・スキルや、確かな基礎の上に成り立つ21世紀型のスキルをますます必要とするようになるでしょう。アフリカの経済が変化するにつれ、若者には、仕事の本質を変えつつあるトレンドに対応するデジタル知識とスキルの混合が必要になります。デジタルスキル、就労準備スキル、起業家精神は、就職希望者やビジネス革新者、開発者の間で十分に発達していないと指摘されています。

そのため、デジタルスキルの需要は明確ですが、トレーニングにかかる費用が高いため、トレーニングや再スキルアップ、スキルアップへのアクセスは限られています。そのため、アフリカの若者はデジタルスキルや起業家精神、即戦力となるスキルを得ることができません。ソフトウェア開発者の育成には1万ドル以上かかり、認定ソフトウェア・エンジニアの育成には2万5,000ドルもかかります。

このような状況は、アフリカの若者の間で高まっているデジタルスキルの需要に応えるものではなく、場合によっては、これらのギャップを埋めるために労働力を輸入することにつながります。パワー・ラーン・プロジェクトが、アフリカのための100万人開発者プログラム（#1 Million devs 4 Africa）と名付けられた旗艦プログラムを立ち上げたのは、この前提に基づくものです。100万人の開発者プログラムは、ソフトウェア開発のトレーニングを通して、100万人のアフリカの若者に技術的スキルを与えることを目的とした技術ベースの奨学金プログラムです。Power Learn Projectは、手頃で利用しやすく、アフリカの若者の潜在能力を引き出し、革新的な解決策を生み出すことができる、質の高い技術ベースのトレーニングを提供します。

パワー・ラーン・プロジェクトは、若者の経済的機会を狭めているデジタルスキルの大きなギャップに取り組むことを約束します。デジタル空間へのアクセスを拡大することで、若者たちが直面している雇用の障壁に対処することができ、それによって彼らの生活の質を向上させ、経済的な安定を高め、有意義な雇用を見つける機会を与えることができます。デジタルスキルは、アフリカの若者が、デジタル化、自動化、コネクテッド化が進む世界において、新たな機会を活用するための十分な能力を備えていることを保証するものです。デジタルスキルは、アフリカ連合のアジェンダ2063と2030年の持続可能な開発目標を達成するための中心的なものと解釈することができます。

COMESAと欧州連合（EU）は、第11次欧州開発基金（European Development Fund）の下、2021年1月から2024年まで実施される「情報通信技術（EGEE-ICT）分野におけるガバナンスと実現環境の強化（Enhancement of Governance and Enabling Environment in the Information Communication and Technology）」プログラムを実施するため、2020年に800万ユーロ相当の拠出協定を締結しました。

アフリカ29カ国（COMESA、IGAD、EAC、SADC、IOC地域）は、地域統合を促進するための連携を可能にするICT環境を整備することを目的としています。例えばケニアでは、情報通信・デジタル経済省が今後5年間に、すべての政府サービスのデジタル化、デジタル・スーパーハイウェイの下での全国10万kmの光ファイバーケーブル敷設、2万5,000カ所の公共Wi-Fiホットスポットの設置、1,450カ所のデジタルビレッジ・スマートハブとスタジオの設立、サイバーセキュリティ管理の強化に取り組んでいます。

16週間の技術研修プログラムから期待される 成果



デジタル技術コース

Pythonプログラミング

Flutterを使ったDart
プログラミング

ブロックチェーン技術入門

ウェブ技術
(PHP、HTML、JAVAス
クリプト)

データベース (SQL
プログラミング)

モバイルやタブレット
に対応したウェブペー
ジを作成できます。

基本的なウェブアプリケ
ーションを作成します。

アジャイル開発プロトコ
ルの適用

ソフトウェア開発ライ
フサイクル全体に貢献
します。



仕事力 (対人関係力)



起業家精神



「アフリカで生まれたからアフリカ人なのではなく、アフリカが私の中に生まれたからアフリカ人なのです。私たちを結びつける力は本質的なものであり、私たちを引き離す重畳的な影響よりも偉大なものです。思考なき行動は空虚。行動なき思考は盲目です」

Kwame Nkrumah
ガーナ元大統領

仕組み

16週間の概要

技術-トレーニングプログラム

技術トレーニングプログラムは3つのステップに分かれています：

技術トレーニング：応募者は選考プロセスとコンピューターリテラシーテストを受けます。選考後、学習者はバーチャル・オリエンテーションを受けます。その後、学習者管理システム (LMS) に登録され、オンライン学習が開始されます。プログラムでは、Pythonプログラミング、Flutterを使用したDartプログラミング、ブロックチェーン技術入門、ウェブ技術 (PHP、HTML、JAVAスクリプト)、データベース (SQLプログラミング) などの実践的なコーディングを体験できます。また、チームビルディング、学習スキル、キャリアプランニング、履歴書の書き方、面接スキル、就職活動戦略、職場行動などのソフトスキル研修も行います。

ピアプログラミングとメンタリング： PLPは、学習者と主要な利害関係者の間にパートナーシップを育むエコシステムを構築し、受益者に指導やネットワーク作りの機会を提供しています。

私たちの学習者は、少なくとも3つのハッカソン大会に参加することが期待されています。ハッカソンは、実践的なスキル、共同作業スキル、ピッチングスキルなどを通して学習者を指導する機会を提供します。また、リクルーターや業界の専門家をゲストスピーカーとして招き、技術業界、就職活動のテクニック、履歴書の書き方、転用可能なスキル、ソーシャルメディアに関する情報を共有しています。

プロジェクト・ベースド・ラーニング：当校の学習は、学習者が実践的かつ産業的な経験を積むことに重点を置いています。学習者は卒業に必要な証明としてプロジェクトを開発し、完成させなければなりません。学習者は、アフリカの現実の課題に取り組むことを目的としたプロジェクトを作成します。このプロセスにおいて、学習者はマンツーマンのコーチングとガイダンスを受け、学習者の仕事と私生活のモチベーションを高め、変化を促す個人プロジェクトを開発します。

オリエンテーション&導入学習

1週目~4週目

オリエンテーションと全モジュールの基礎学習により、包括的で没頭できる学習体験の舞台を整えます。

最終プロジェクト アイデアと開発
第9週~第12週

学習者に、スキルと知識を実社会の問題に応用し、良い影響を与えるソリューションを開発する機会を提供します。

モジュールの専門化とピアサポートの割り当て
第5週から第8週まで

モジュールの専門化とピアサポートの割り当てにより、学習者は自分の興味や強みに合ったモジュールに集中することができ、同時にピアからのサポートを受けることができます。

最終プロジェクト提出、
メンターシップ、卒業式
第13週~第16週

学習者が自分のスキルを披露し、貴重な指導やサポートを受けながら、就職や起業の準備を進めることができます。

2022年ハッカソン受賞者



"教育とは、世界
を変えるために
使える最も強力
な武器である"

ネルソン・マンデラ
元南アフリカ大統領



対象となる学習者

16週間の技術トレーニングプログラムの概要

- 100万人の開発者プログラムは、対象となる学習者に以下のことを提供します：
 - 今日のリクルーターに必要なテクニカルスキルに焦点を当てた個別トレーニング。
 - 指導中にコーディングの実習。
 - リクルーターや業界のプロフェッショナルとネットワークを作る機会。
 - 業界のプロフェッショナルによるコードフェスト・ワークショップ。
 - 個人的なサイドプロジェクト（Proof of Work）の開発とプログラミング・ポートフォリオの構築の指導。

PLPのターゲット学習者は、ソフトウェア開発のキャリアをスタートさせたい、または各プログラミング言語のスキルアップに熱心な18歳以上のアフリカの若者、またはデジタル教育や雇用の障壁に直面しているアフリカの若者です。主なターゲットとなる学習者は、技術コースのバックグラウンドを持つ大学、高等専門学校、ポリテクニクの学習者に分類されます。これは、技術コースに積極的に取り組んでいる学習者、または技術分野でのキャリアを追求することに興味と情熱を持っている学習者と解釈することができます。

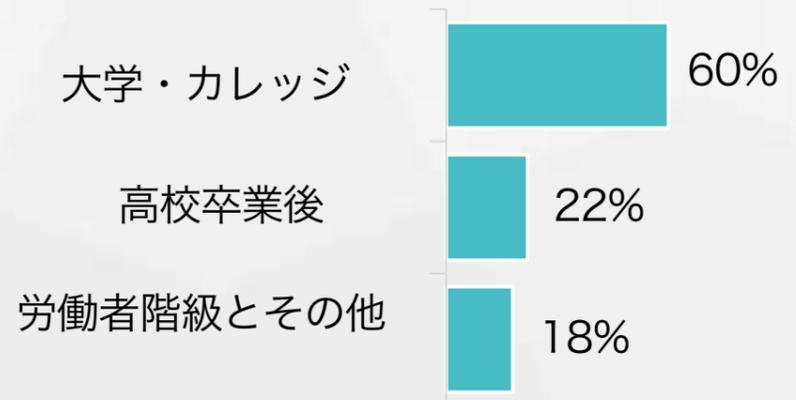
ターゲットとする学習者は3つのカテゴリーに分けられます。

- **高等教育の学習者（カレッジや大学）**：すでに高等教育に参加し、技術スキルに関心を持っている学習者。

- **ワーキングクラスとアップスキリング学習者**：高等教育を卒業し、すでに働いている、または求職中で、デジタルスキルのスキルアップに関心がある学習者。

- **高校卒業後の学習者**：高校を卒業した学習者で、技術スキルに関心があり、ソフトウェア開発のトレーニングを受ける資金がない人たちです。

対象学習者



パワー・ラーン・プロジェクト・コホート1では、高等教育と労働者階級の学習者が最も成功を収めました。その内訳は、大学・短大学習者約600人、中等教育修了後学習者約220人、労働者階級学習者約180人。大学・短大の学習者の学習継続率は約66.9%、労働者階級の学習者の学習継続率は約20.1%でした。パワー・ラーン第1コホートの卒業生のうち、高校卒業後の学習者は他の学習者プロフィールに比べて退学する傾向が強く、その結果、卒業したのはわずか13%でした。



卒業式に出席したロバート・サウニ知識部長。



プロジェクトベースの学習：16週間の技術研修プログラムの概要

プロジェクトベースの学習は、当校の技術訓練プログラムに不可欠な要素です。そのため、学習者は卒業に必要な作品の証明としてプロジェクトを開発し、完成させなければなりません。第1期生を卒業した700人の学習者から、700のプロジェクトが提出されました。提出されたプロジェクトのうち、400件は実行可能なプロジェクトで、経済的な可能性が非常に高いものでした。しかし、卒業式で披露され、外部組織から資金提供を受けることができたのは、わずか20のプロジェクトだけでした。

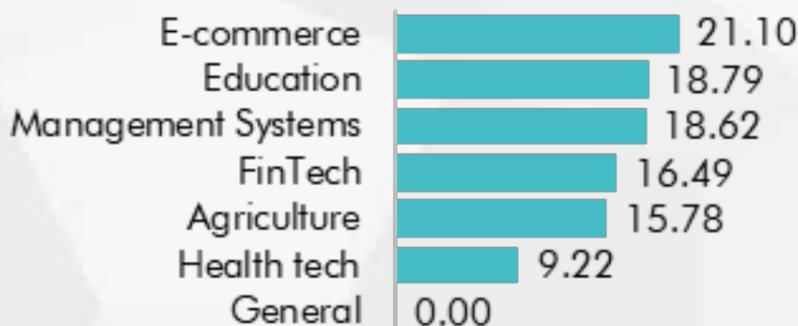
学習者プロジェクト



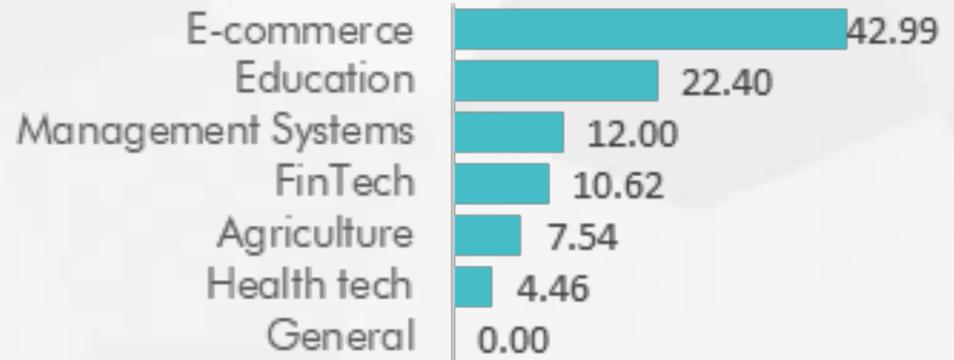
現在、4,000を超える学習者のプロジェクトが寄せられています。これらのプロジェクトは、学習者の専門分野や興味のある分野に基づいて、さまざまな経済セクターに分類されています。これらのプロジェクトはさらに国ごとに分類されています。

セクター分類	プロジェクト数
電子商取引	1336
教育	581
農業	560
フィンテック	454
健康	342
マネジメント	330
一般	209
その他	198
トータル	4,010.00

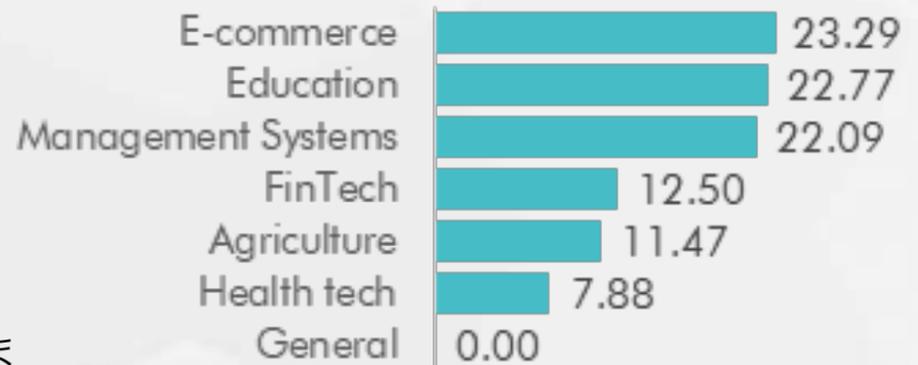
Sectoral Classification of Learners' Projects in South Africa



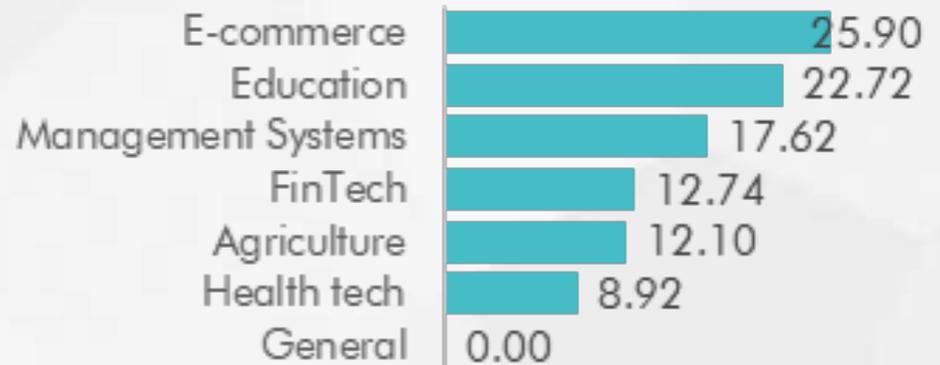
Sectoral Classification of Learners' Projects in Tanzania



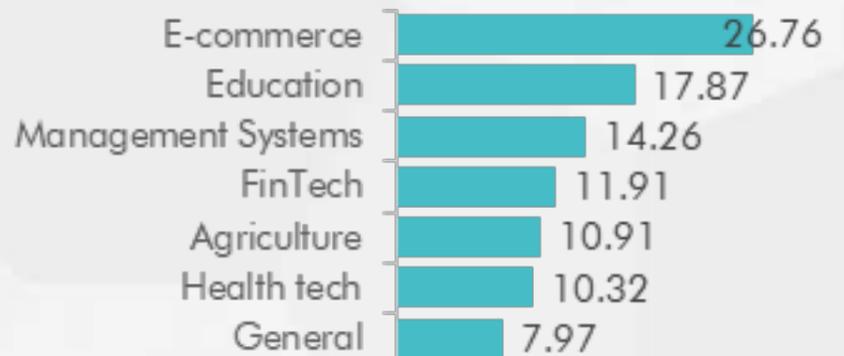
Sectoral Classification of Learners' Projects in Nigeria



Sectoral Classification of Learners' Projects in Zambia



Sectoral Classification of Learners' Projects in Kenya

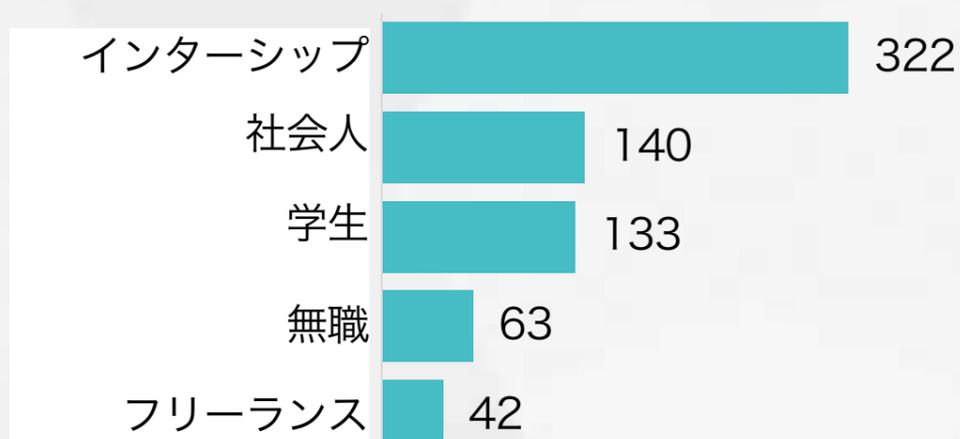


学習者の成功と課題

16週間技術研修プログラムの概要

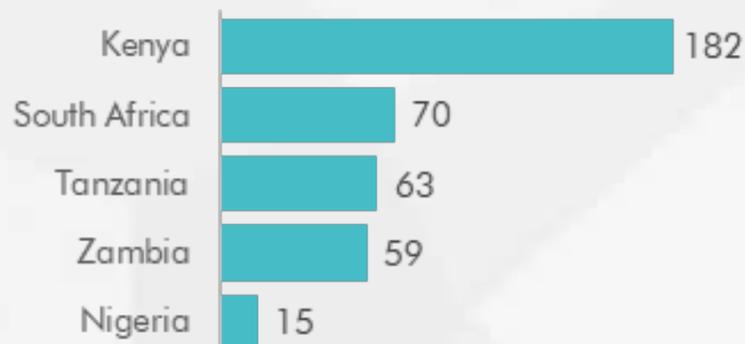
コーホート1の卒業生は、322人がインターンシップに参加し、133人が学生として勉強を続け、少なくとも42人がフリーランスとしてギグ・エコノミーに参加しています。

卒業生



地域の学習者の増加に伴い、学習者の成功率も上昇し続けています。4,000人の学習者のうちケニアから182人、南アフリカから70人、タンザニアから63人、ザンビアから59人、ナイジェリアから15人がそれぞれインターンシップに参加しました。地域別インターンシップの概要は以下の通り。

Internship Summary per Country

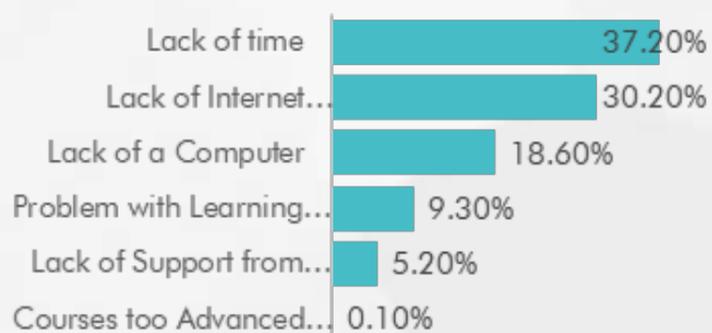


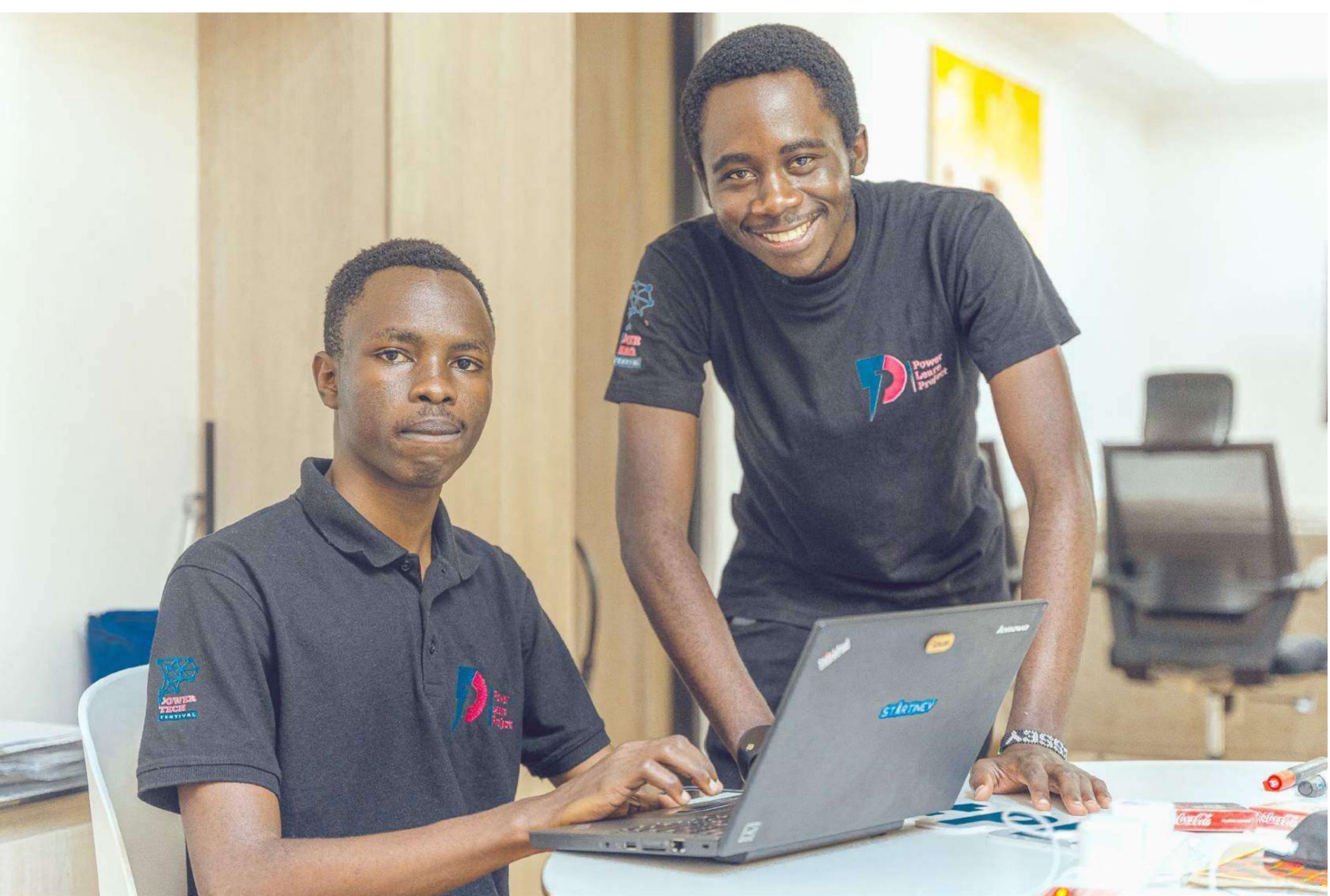
対象となる学習者は、以下のような課題に直面しています：

時間管理。 当校の主な学習者は高等教育の学習者であり、次いで社会人クラスとスキルアップの学習者であるため、学習時間が授業や仕事のスケジュールと重なり、大きな課題となっていることに気づきました。この問題を解決するため、私たちはコースを自己管理型に変更し、学習者が課題に直面した場合にはトレーナーに連絡できるようにしました。これらの学習者グループは、すでにインターネットにアクセスできるノートパソコンやPCを利用していたため、最も高い学習継続率を記録しました。

コンピュータ機器とインターネット接続。 この課題は、中等教育修了後の学習者に多く、そのため退学率が高くなりがちでした。私たちは、基本的なコンピューターリテラシーを持ち、インターネットにすぐにアクセスできるノートパソコンやPCを利用できる学習者を入学基準に加えることで、この課題を解決しました。学習者の課題の概要は以下の通りです。

Learner Challenges





「後ずさりしないこと。世の中で場所を取ることに尻込みしないこと。自分が後輩だからとか、周りが忙しいからとか思わないこと。

手を伸ばし、ネットワークを広げること。問題を見つけたら、解決策も見つけるべきだと信じています」

Dr. Ngozi Okonjo-Iweala

ナイジェリア

受講者ストーリー



キアモヘツ
イ・モレツ
アネ
南アフリカ

100万人の開発者プログラムは、最もチャレンジングなプログラムの1つでしたが、私のインストラクターは、授業が終わった後でも、マンツーマンのセッションでさらに詳しく説明するなど、全員が授業に参加できるように配慮してくれました。すべての言語を学ぼうとするのは大変なことでしたが、複数の言語に特化することができたのはよかったです。

PLPは最高です。ハッカソンや将来のインターンシップなど、今でも私たちのために機会を探してくれます。仲間にも安心して勧められます。私たちが勉強できる環境を作ってくれてありがとうございます。



チソモ
・ムタ
レ
ザンビアから

PLPは私の人生に可能性の火花を散らし、大きな夢を見るよう後押ししてくれました。やがてその火花は成功の炎に変わるでしょう。私がPLPに出会ったのは、大学での試験の最低基準を満たすことができず、学校での生活が少し辛かった時期でした。PLPに登録し、これなら私にもできると母を説得しました。それが私がここまで活動的になったもう一つの理由です。試験に失敗したとき、私は暗闇の中にいましたから、将来に希望を与えてくれたのです。



リディ
ワン・
ムセヤ
タンザニア出身

パワーランプロジェクトのおかげで、個人的にもプロフェッショナルとしても成長する旅に出ることができました。私は、ただのコーダーから、ソフトウェア製品におけるビジネス感覚を備えた適切なソフトウェア開発者に変身することができました。

受講者ストーリー



キアモヘツ イ・モレツ アネ

南アフリカ

PLP奨学金プログラムに参加する前、私は人生で大きな困難に直面していました。最も差し迫った問題は、仕事を確保するのが難しかったことです。就職先が少なく、経済的に不安定で将来が不安でした。この問題に対処するため、私は新しい事業に乗り出すことにしました。現在、包括的な事業計画と提案書を作成しているところです。特筆すべきは、この期間に会社を登記するという重要なステップを踏んだことです。

PLP奨学金プログラムに参加したことで、私が直面していた課題に大きなプラスの影響を与えることができました。特に教育テクノロジー、ヘルスケア、フィンテックの分野でアプリケーションを開発できるようになったことは、特筆すべき成果のひとつです。プログラムを通じて得た知識とスキルは、現実世界の問題に対処する革新的なソリューションやアプリを生み出す力を与えてくれました。この新たな能力は、私に目的意識を与えてくれるだけでなく、就職市場でも有望な機会を与えてくれます。

この旅で最も印象に残っているのは、解決策やビジネスアイデアを生み出す新たな能力です。PLP奨学金は、市場のギャップを特定し、ユニークなビジネス提案を構想し、これらのアイデアを実現するために必要なスキルと知識を私に与えてくれました。さらに、これらのコンセプトを潜在的な投資家に効果的に売り込む方法も学びました。自分のアイデアを革新し、創造し、伝えるこの能力は、PLP奨学金プログラムでの私の経験の大きなハイライトでした。



オラニヤ ン・ダニ エル・オ ルセグン

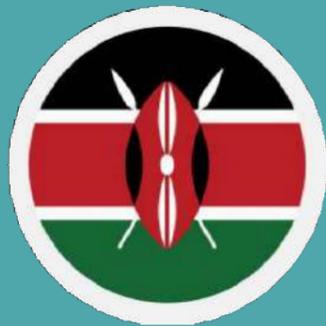
ナイジェリア

パワー・ローン・プロジェクトは私にとって転機となりました。ダイナミックなアフリカの開発者コミュニティとつながり、フリーランスの仕事につながり、自分のエンジニアリングの仕事とソフトウェア開発のスキルを統合することができました。この旅は、変容と感動を与えてくれました。



ナイジェリア

PLPの旅の中で最も重要な瞬間のひとつは、ナイジェリアでの「ミート＆グリーツ」イベントでした。さまざまな立場から志を同じくする人たちが集まったこの集まりは、団結力と志の共有の証でした。私はここで、自分が何か大きなものの一員であり、個人的な野心を超越したものであることに気づきました。私は、テクノロジーの変革の可能性を信じるグローバル・コミュニティの一員だったのです。



オードリー・オ ティエノ・ワガ ケニアより

私の名前はオードリー・オティエノ・ワガです。私の人生をインスピレーション、回復力、そしてセカンド・チャンスへの揺るぎない信念で満たした特別な旅を分かち合うためにここに来ました。数学とコンピュータ・サイエンスのユニークなバックグラウンドを持つメイクアップ・アーティストである私の物語は、私でさえ予測できなかった展開を見せます。それは2022年1月、大学3年生のときに偶然見つけたミームがきっかけでした。それは面白いものでしたが、私の心の奥底に深く刻まれ、違うタイプのメイクアップ・アーティストになりたい、世界に際立った足跡を残せるようなメイクアップ・アーティストになりたいという憧れを掻き立てました。しかし、私の変身への道に試練がなかったわけではありません。間違いを犯し、人生の迷宮から自分を救うことはできないと確信したこともありました。目的意識が曖昧になり、不確実性の影に取り残されたのです。

そして4月、パワー・ラン・プロジェクト（PLP）という希望の光が見えました。このプロジェクトが私の願望を実現する鍵を握っているかもしれないと感じ、注視し始めました。しかし、私の人生においてこの重要な時期を過ごしていた矢先、学校のポータルが突然閉鎖され、私は学問の旅から予定外の休暇を余儀なくされました。

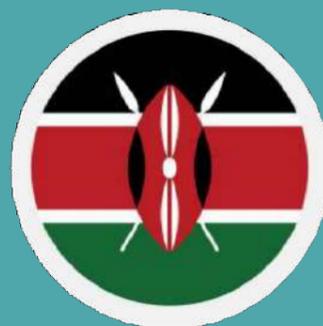
私にとっては暗黒の時代でしたが、2度目のチャンスが人生を変える可能性があることに気づいた瞬間でもありました。PLPが第2期生を募集しているのを見たとき、私は希望に満ちた心でこのチャンスをつかみました。そして私にとって、パワー・ラン・プロジェクトはそれ以上のものでした。2022年11月に届いた入学許可メールは、変革の章の始まりでした。

2022年11月から2023年5月まで、DartとFlutterを使ったモバイルアプリケーション開発を中心に、ソフトウェア開発の学習に専念しました。それは、私が永遠に感謝することになるであろう、強烈な学習と成長の期間でした。PLPは私の人生の目的を再発見し、長い間私の中に眠っていた情熱に火をつける手助けをしてくれました。この変革期に、私は身近なプロジェクトである「Niva Africa」に着手しました。このモバイル・アプリケーションは、個人に合わせた美容製品やサービスをシームレスに購入できるようにすることを目的としていました。

アプリのアーキテクチャの構想からプロトタイプの作成、開発まで、PLPから受けたサポートと指導は非常に貴重なものでした。PLPの特徴は、教育へのコミットメントだけでなく、提供される機会にもあります。技術イベントへの参加や、Startinive、Anza Village、Ygapなどの素晴らしいスタートアップインキュベーターへのアクセスは、私の知識を豊かにし、可能性の世界へとつなげてくれました。

パワー・ラン・プロジェクトは、100万人のアフリカの若者にソフトウェア開発の教育を施すという崇高な目標を掲げるだけの組織ではありません。私のような個人の可能性を信じる家族です。夢は追い求める価値があること、セカンド・チャンスは自分の道を再定義することができること、そして最終的には、自分の人生の物語が、同じような岐路に直面している人たちにインスピレーションを与えることができることを、この団体は教えてくれました。私の物語から、皆さんが夢を追いかける回復力、障害を乗り越える勇気、そしてセカンド・チャンスを信じる揺るぎない信念を見つけることを願っています。私の名前はオードリー・オティエノ・ワガです。パワー・ラン・プロジェクトでの私の旅は、変容の力と揺るぎない人間の精神の証です。

受講者ストーリー



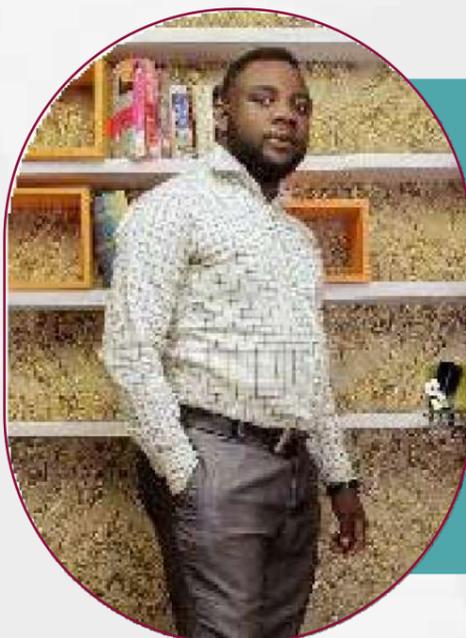
ジュリー・ワ
イノイ
ケニア

PLPは私にポジティブな影響を与えてくれました。PLPに参加したとき、私はとても興奮しました。なぜなら、ソフトウェアエンジニアとして成長するためのネットワークが必要だったのですが、PLPはそれ以上のものを提供してくれたからです。PLPにいる間、私はブロックチェーンについて学ぶ機会を得ました。PLPに感謝します。



オコリー・ダ
ニエル
ナイジェリア

奨学金の支援を受けてPLPアカデミーを卒業したことは、私をソフトウェアエンジニアリングの新たな高みへと押し上げました。私の教育への投資は、変容の旅のきっかけとなりました。献身的な努力と機会があれば、夢の高みに登ることができるという証です。PLPアカデミーは経済的な援助以上のものであり、私の可能性に対する信任投票でした。私は、この進化し続ける分野で革新し、創造し、著しい高みを達成することで、この恩返しをする決意です。卒業生の皆さん、適切なサポートがあれば、「達成できることに限界はない」ということを忘れないでください。



スティーブ・
ダンボ
ナイジェリア

私の次の冒険を支えてくれたPLPに感謝します。アフリカの兄弟姉妹と私をつないでくれてありがとうございます。私の旅にお付き合いいただきありがとうございました。ありがとうございます！ありがとうございます！そしてありがとう。



「なぜそこまで気にするのか、自分でもよくわかりません。ただ、自分の中に何か問題があって、それをどうにかしなきゃいけないという気持ちがあるだけなんです。それが私の中の神と呼べるものだと思います」
ワンガリ・マータイ

地域立ち上げとコミュニティ形成の旅



「経済的な機会を創出し、起業家精神を育む文化を築き、貧困の中でじっと座って他人のせいにするのではなく、自分の生活を向上させることに責任を持つようにしなければなりません」

ポール・カガメルワンダ大統領

地域立ち上げとコミュニティ形成の旅



ケニア発表会



2022年4月28日、ナイロビ・イノベーション・ウィーク (NIW) の期間中、ナイロビ大学で100万人デブズ・プログラムが開始されました。この発表会では、技術訓練プログラムへの500人を超える応募がありました。

地域づくりステージ



CAS ナディア・アブ
ド・アブダラ、ICT・イ
ノベーション・青少年
省



成功裏に学習者を送り出した後、技術エコシステムのメンバーとつながり、共有し、学び、アイデアを交換し、学習者と機会をつなげる必要があります。PLPテックエコシステムリーダーズカクテルイベントは、2022年7月14日にアッパーヒルのラディソンブルーホテルで開催されました。このイベントには、150人以上のエコシステムの人材リクルーターやテクノロジー業界のパートナーが集まりました。

地域立ち上げとコミュニティ形成の旅

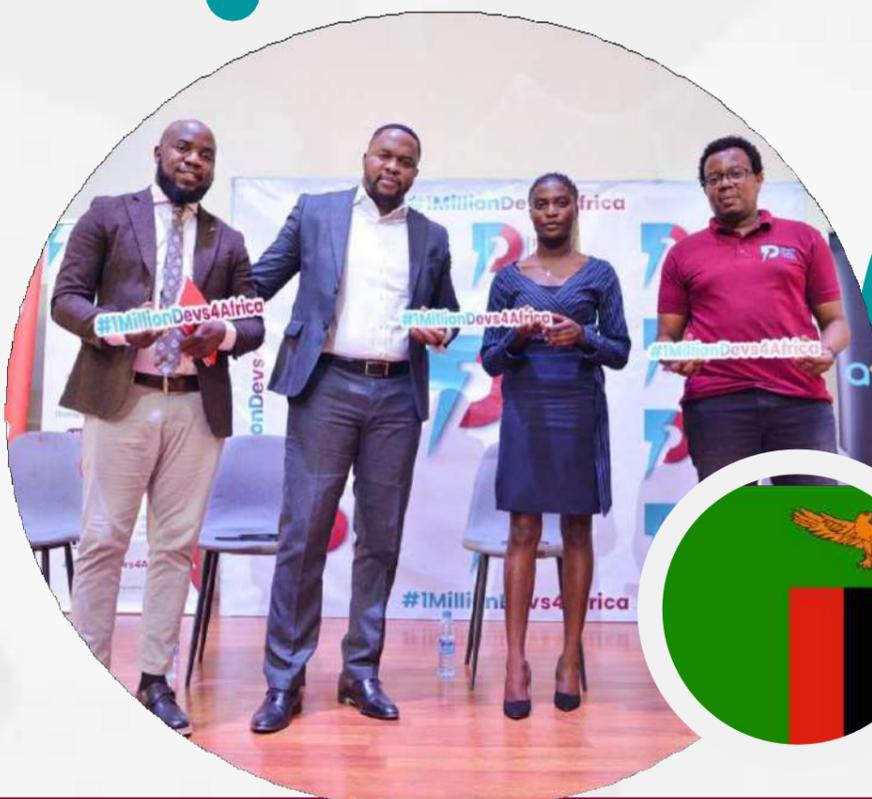


南アフリカ共和国国会議員ゾラニ・ムキバ氏、南アフリカにおける若者の能力開発4IR最適化に関するパネルディスカッション、司会：スタートアップ・ビジネス・キャンパス創設者兼CEO ラッキー・リテル氏、歓迎挨拶：SCI-Bonoディスカバリー・センターCEO兼ニュータウン改善地区会長 モア・チャカネ博士

PLP南アフリカ・テック・エコシステム・リーダーズ・ネットワーキング・ブレイクファスト・イベントが、2022年8月31日にSCI-Bonoディスカバリーセンター このイベントには、80人以上のエコシステム人材リクルーターやテクノロジー業界のパートナーが参加しました。

リージョナル・ローンチ・ステージ
-南アフリカ

地域立ち上げステージ-ザンビア



2022年9月14日、ザンビアにおける100万人の開発者プログラムの発表会が国立行政学院で開催され、350人以上の応募がありました。

地域立ち上げとコミュニティ形成の旅



2022年9月14日、ザンビアのルサカにあるラディソンブルーホテルにて、ザンビアにおけるPLPテックエコシステムイベントが開催されました。このイベントには、テクノロジー業界のエコシステム人材リクルーターやパートナー50社以上が参加しました。

地域コミュニティづくり- ザンビア

Sahara Sparksは、イノベーション、テクノロジー、起業家精神をめぐる取引や会話を促進するために2016年に立ち上げられたプラットフォームです。アフリカにおけるイノベーション、テクノロジー起業家精神、エコシステムの構築に焦点を当てたプラットフォームです。パワー・ラーン・プロジェクトとサハラ・スパークスとの提携により、私たちはサハラ・スパークス主催のポテンシャルをテーマとした5日間の年次イベントにおいて、技術エコシステムを開催しました。このイベントには300人以上のエコシステム人材リクルーターやパートナーが集まりました。

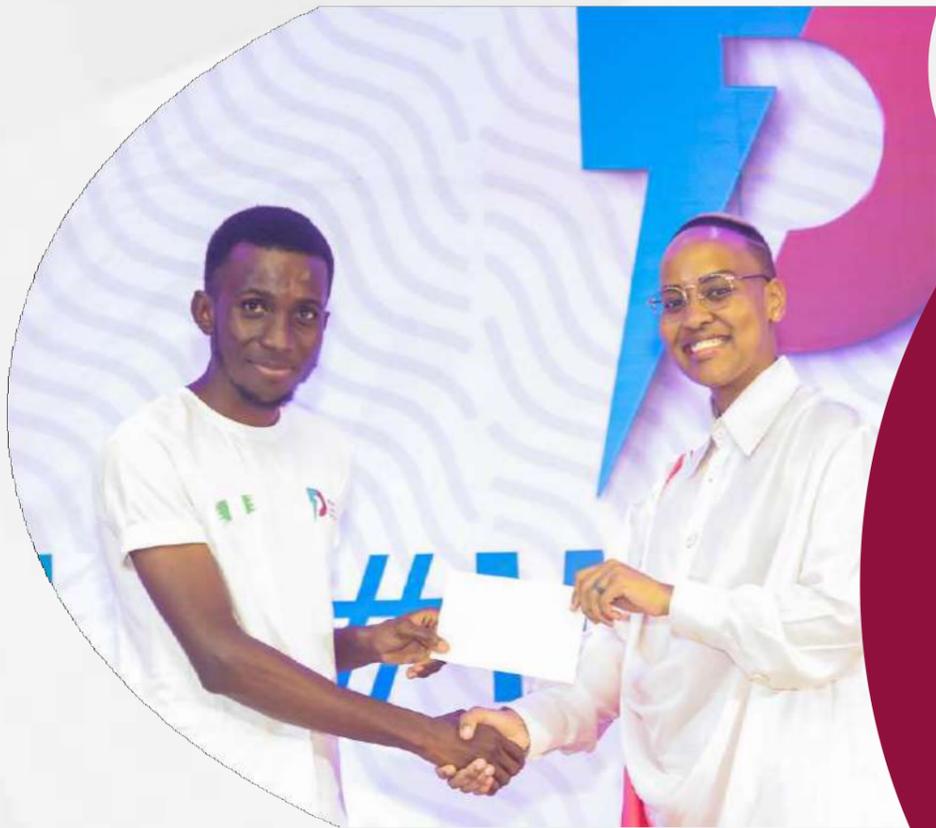


地域立ち上げステージ -タンザニア



ナイジェリアでは、11月2022日にラゴス大学で100万人のデブス・プログラムが開始されました。このプログラムには500人以上の応募がありました。

ナイジェリア



2022年11月18日、ラゴスのオリエンタルホテルにて、PLPナイジェリア・テック・エコシステム・リーダー・ネットワーキング・イベントが開催されました。このイベントには、150人以上のエコシステム人材リクルーターとテクノロジー業界のパートナーが集まりました。

地域コミュニティ形成 -ナイジェリア



「テクノロジーは何でもありません。重要なのは、あなたが人を信じることであり、人は基本的に善良で賢く、道具を与えれば、それを使って素晴らしいことをやってくれると信じることです」

コミュニティとパートナーシップの構築

PLPの目的のひとつは、訓練を受けた若者とテクノロジー業界の主要なステークホルダーとの間にパートナーシップを育むエコシステムを構築することです。この目的を達成するために、私たちはコミュニティ構築、アウトリーチ、ネットワークングにおけるKPIを設定しました。現在、PLPコミュニティには10,000人以上のメンバーがいます。これはパートナー、学習者コミュニティ、卒業生コミュニティ、メンターコミュニティ、技術者コミュニティで構成されています。PLPエコシステムはコミュニティのメンバーに機会を提供しています。これらの機会をまとめると次のようになります：

カリキュラム統合の機会：私たちは、対象となる学習者の条件を満たし、PLPの技術トレーニングに参加したいと考える生徒を抱える組織や機関が数多くあることを認識しています。地域のイベントを通じて、カリキュラムの統合を促進するパートナーシップを築くことができます。

中小企業および新興企業コミュニティとの戦略的提携： PLP技術研修プログラムは、プロジェクトベースの学習プログラムです。PLPはプロジェクトベースの学習プログラムです。スタートアップや中小企業のコミュニティと連携することで、学習者をインターンシップや雇用につなげることができます。

メンターシップの機会当校の重点分野のひとつは、学習者が実践的かつ産業的な経験を積めるようにすることです。これを達成するためには、1対1のメンターシップが最も重要です。エコシステムは、学習者をテクノロジー分野の主要な利害関係者と結びつける機会を提供します。

PLPのテクノロジーとイノベーションのエコシステムをデビューさせるため、パワー・テック・フェスティバル（PTF）が2022年12月8日に開催されました。パワー・テック・フェスティバルは、新興技術、イノベーション、インクルージョン、そしてテック・エコシステムにおけるウェルネスをテーマとしています。



PTFは、テクノロジー・サポーター、テクノロジー・エコシステム・プレイヤー、主要パートナー、ステークホルダー、ICT政策立案者、PLP卒業生が一堂に会することを目的とした2日間のイベントでした。Power Tech Festivalは3つのテーマに分かれています：

パワーハックス PLPプログラムの修了生が、アフリカ大陸の課題に対する革新的な技術的ソリューションを考案する、インタラクティブなハッカソンセッションです。Power hacksは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）やアフリカで直面するユニークな課題などのテーマ分野に取り組み、若い頭脳に創造性と問題解決能力を解き放つ力を与えるハッカソンシリーズを綿密に企画したものです。このイニシアチブはコラボレーションを促進し、私たちのコミュニティ内でコーディング、起業家精神、人前で話す機会を提供します。これらの機会を通じて、日常生活の変革を促すテクノロジー主導のソリューションを活用し、不可欠な技術スキルの普及を加速させることを目指しています。

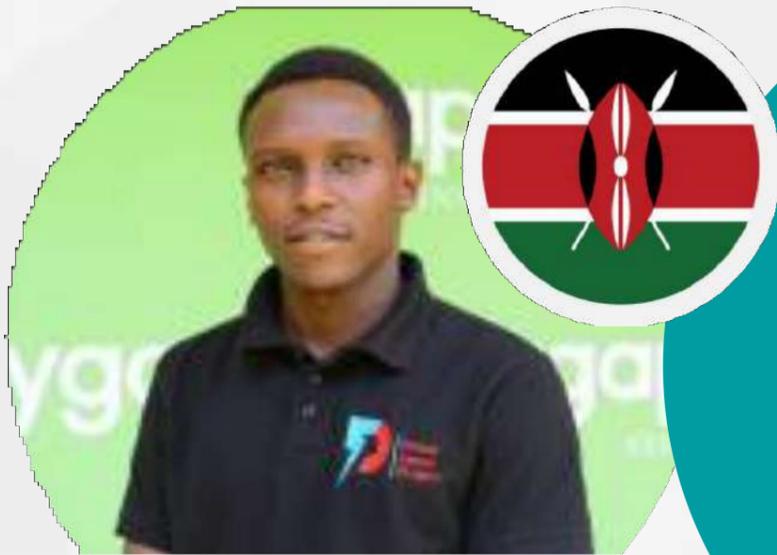
プレナリーとパネルセッション：メンタルヘルス、ファイナンシャル・リテラシー、ウーマン・イン・テック、ピッチ・セッション、キャリア・フェアなどのテーマ別セッション。各テーマの概要は以下の通り：

心のパワー この業界はストレスが多く、メンタルヘルスの偏見をなくす必要があり、生産性に直接影響するため、私たちが力を入れている重要な要素です。

パワー・ユア・マネー この金融リテラシーの分野は、卒業生がビジネス・アイデアを発展させ、雇用される準備をするためのトレーニングを補完するものです。

パワー・ユア・フューチャー これは、AI、IoT、機械学習、ブロックチェーン、AR/VR、量子コンピューティングの新技术をカバーしています。また、クライマテック・ソリューションのキュレーションも含まれます。

パワー・ウーマン・イン・テック この分野は、多様性を育み、未開拓の可能性を解き放つために、テック業界を受け入れる女性に力を与え、奨励することに重点を置いています。



サラティエル・ウェケサ

スタートアップ・ベンチャー-リフト

概要

新興企業のクラウドファンディング・キャンペーンを効率化し、投資家と結びつけるシステム。

インパクト

クラウドファンディングの状況を簡素化し、新興企業が資本を確保するためのアクセスしやすく費用対効果の高い手段を提供します。

概要

廃棄物排出事業者と廃棄物収集業者間の接続を促進し、廃棄物収集のスケジュールを簡素化します。

インパクト

このプラットフォームは、スケジュールリングを強化し、効率を向上させ、環境への影響を削減し、責任ある廃棄物管理を可能にします。



リティワニ・ムセヤ

スタートアップ・ベンチャー-スマート・タカ

概要

美容業界におけるアクセシビリティの問題に取り組み、顧客と専門家、製品をつなげます。

インパクト

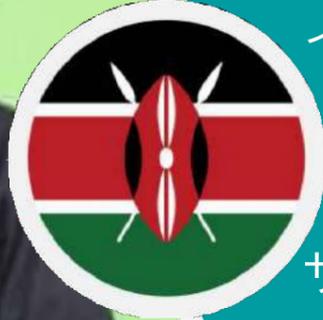
ニヴァ・アフリカのプラットフォームは美容を簡素化し、信頼性の高いワンストップ・ソリューションを提供し、アクセスと利便性を向上させます。



オードリー・オチーノ

スタートアップ・ベンチャー-ニヴァ・アフリカ

受講者ベンチャー企業



オニョンカ・マエリ

概要

サイバーセキュリティを専門とするデジタル・ディフェンスを強化するためにカスタマイズされたツールやサービスの開発

インパクト

サイアットは、企業や個人のオンラインセキュリティ強化に大きく貢献しています。

スタートアップ・ベンチャー-サイアット

概要

農場や様々な地域から、特に夜間の野生動物を抑止するドローン会社。

インパクト

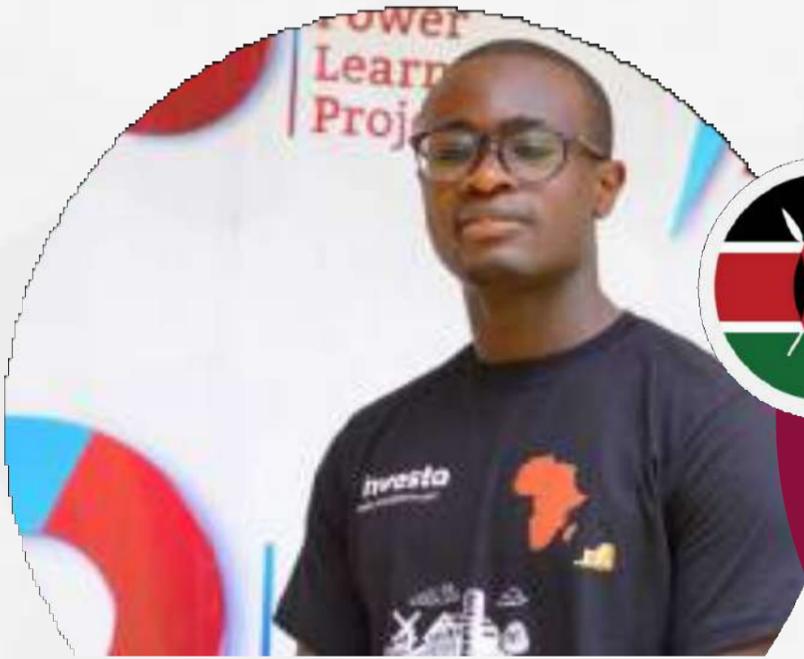
野生動物を抑止し、農作物の被害を軽減し、経済的利益を守る効果的な手段を提供。



ネヴィル・アチエン

スタートアップ・ベンチャー -
Wanyama Drones

受講者ベンチャー企業



概要

農家へのデジタル通貨融資を提供。

インパクト

金融排除と限られたクレジットアクセスが農家の成長を妨げています。このプラットフォームは金融包摂と農業開発を促進します。

モセス・オピヨ

スタートアップ・ベンチャー-インベスタ



概要

紛失した携帯電話からデータを復元し、紛失したデバイスを追跡してブロックします。

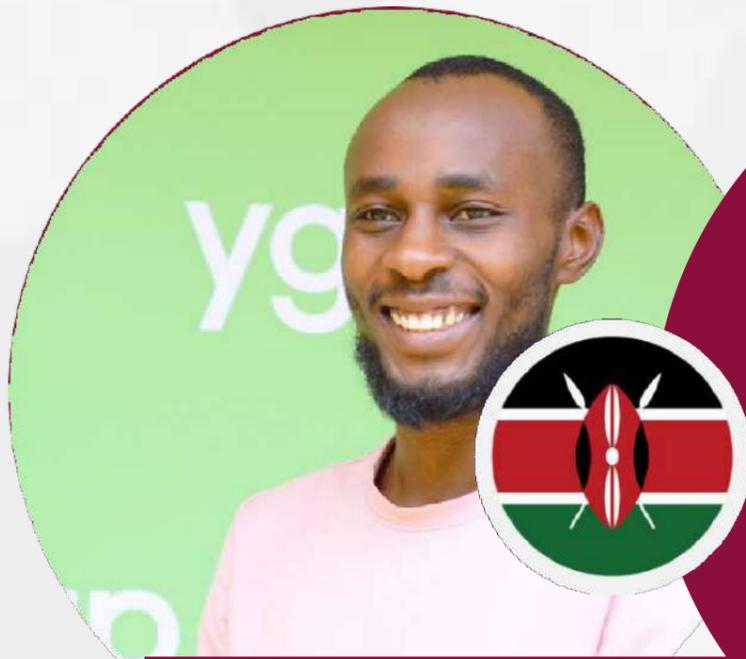
インパクト

Phone Keir Systemは、データを保護し、紛失したデバイスを復元する強力なツールをユーザーに提供します。

ロリーン・ムトゥア

スタートアップ・ベンチャー-フォン・キール

受講者ベンチャー企業



デニス・ヌネ

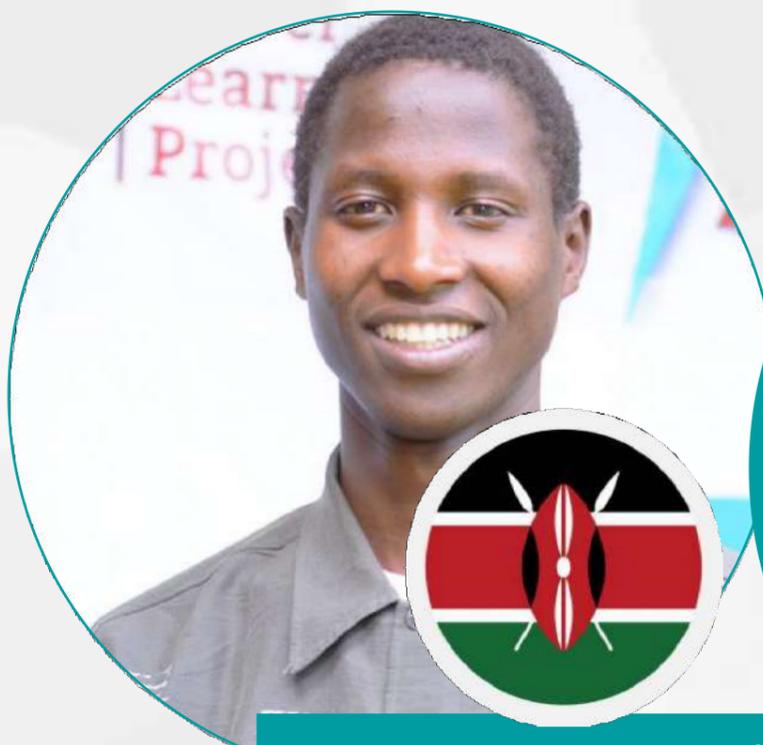
スタートアップ・ベンチャー
GFCウォレット

概要

銀行と携帯電話の送金の取引コストを大幅に削減するデジタルウォレットを提供。

インパクト

GFCは、銀行と携帯電話の送金をより安価で身近なものにすることを目指しています。



フェリックス・キプコック

スタートアップ・ベンチャー-不動産

概要

ハウスハンターと売り手のための検証された詳細な不動産物件を特徴とするプラットフォーム

インパクト

このベンチャー企業のビジュアル・プラットフォームは不動産体験を強化し、買い手と売り手により有益で効率的なソリューションを提供します。

受講者ベンチャー企業

概要

貸主に信用供与で貯水タンクを提供し、借主の水利便を改善

MajiSolのクレジットベースのアプローチは、水タンクの設置を容易にし、この重要な資源をより身近で手頃なものにします。



リナス・オルオック

スタートアップ・ベンチャー-マジソル

概要

Gas Mallは、LPGとその付属品をクレジットで購入したいケニア農村部の顧客と、確認済みのベンダーをつなぎます。

インパクト

クリーンで効率的な調理を提供するための経済的障壁の打破 燃料を十分なサービスを受けていない地域社会へ。



スタートアップ・ベンチャー-ガスモール



「共通の領土、言語、文化は実際に国家に存在するかもしれませんが、国家の存在は必ずしもこの3つの存在を意味するわけではありません。共通の領土と言語だけで国家の基礎が形成されることもあります。同様に、共通の領土と共通の文化が基礎となる場合もあります。場合によっては、3つのうちの1つだけが当てはまることもあります。国家が多国籍の基盤の上に存在する場合もあります。経済生活の共同体は国家内の大きな特徴であり、領土に住む人々をまとめるのは経済です。新しいアフリカ人が自分たちを潜在的にひとつの国家として認識し、その支配がアフリカ大陸全体に及ぶのは、この基盤の上にあるのです」

クワメ・ンクルマ、ガーナ元大統領

パートナー

パワー・ラーン・プロジェクトはパートナーシップを信じ、パートナーシップに基づいた組織として活動してきました。パートナーシップは、強力な地域オーナーシップ、ひいては長期的な介入の持続可能性の基本であると信じています。この目的のため、私たちは活動するすべての地域で、地元根ざしたコミュニティ・グループ、政府省庁、その他の利害関係者と数多くのパートナーを設立し、維持してきました。私たちのパートナーシップの枠組みには、開発のビジョンの共有、参加、相互の説明責任と信頼、長期的な変革への相互コミットメントなど、パートナーシップの基盤となる多くの基本原則があります。私たちのパートナーには、オンボーディング・パートナー、ジョブ・パートナー、ファンディング・パートナー、コミュニティ・パートナー、インキュベーション・パートナー、カリキュラム・パートナー、ポリシー・ガバナンス・パートナー、規制パートナーなどがあります。



**Next Chymia Consulting
HK Limited**



パートナー



国名：南アフリカ
セクター：イノベーション・ラボ
IoTにおける技術スキルの育成、
イノベーション・エコシステムに
おける市場洞察の提供。



国名：ナイジェリア
セクター：技術人材育成技術
フォーラムの運営、技術人材
と雇用主とのインターンシッ
プや仕事のマッチング



国名：南アフリカ
セクター：高等教育
カリキュラムの強化と
認定、奨学金を通じた
技術スキルの向上。



国名：南アフリカ
セクター：教育機関
サイバーセキュリティ
と倫理的ハッキングの
トレーニングと認証



国：南アフリカ
セクター：教育機関
介入：技術系新興企業に対
する政策提言、ハッカソン
などの技術系イベントの共
催。



国：ナイジェリア
セクター：スポーツ（バス
ケットボール）
介入：バスケットボール・
リーグのイベント／体験の
キュレーションを通じた包
括的なコミュニティ参加



国ナイジェリア
セクターアカデミア-高等
教育包括的介入：ナイジ
ェリアの大学および大学
と関わるあらゆる事項の
調整・連携プラットフォーム



国：ナイジェリア
セクター：非営利企業会
員組織
企業への提言活動とイン
ターンシップの促進



国名：タンザニア
セクターフィンテック
企業
介入雇用のパイプライン
、第4次産業革命に向け
たタンザニアの価値構築
能力を加速させる技術教
育の共創。



国：ナイジェリア
セクター：ソフトウェ
ア研修機関
介入技術エコシステムの
育成
ハイテクをテーマにした
イベントを共同開催し、
若者の技術習得を促進

パートナー



国名：タンザニア
セクター：高等教育 - 大学

紹介：大学の友愛会における説明会と活性化、コミュニティ・イベントや活動の共同企画



国名：南アフリカ
セクター：高等教育

カリキュラムの強化と認定、奨学金を通じた技術スキルの向上。



ニューロリンク
国：タンザニア
セクターテクノロジー

企業の介入卒業した学習者へのインターンシップの機会を通じた雇用のパイプライン



国：ザンビア
セクター国際開発機関青少年とSMのデジタルトランスフォーメーションと経済的価値を促進するデジタル技術の育成と促進

農業セクターにおけるEs



国ザンビア
セクター中小企業開発アーリーステージの新興企業に対するビジネス指導、中小企業全体への技術系人材の紹介



国：ケニア
セクターWeb3ディスカバリー & ニュース

アフリカ全域でのWeb3導入促進、ビジネス支援、指導、コーチングを通じた企業の成長促進



国：南アフリカ
セクター：電子機器製造業

LoTとロボティクスに関するトレーニングとハッカソン



国名：ザンビア
セクター：教育
ザンビアの若者への技術トレーニングの提供、イベントの共同開催

クラウドソース

国：ザンビア
セクター：ソフトウェア会社

優秀な技術者プールのための就職斡旋、プロジェクト斡旋、技術ハッカソン



国：ケニア
セクター：ソフトウェア会社
コミュニティ形成とアドボカシー（キャンパスツアー、イベント）、インターンシップ & ハッカソン、就職斡旋



Interview: Steve Vosloo, Mobile Impact Evangelist, mlab

国名：南アフリカ
セクター：イノベーション・ラボ

テック・エコシステム・イベント、テック・スタートアップ支援、STEMおよびニート青少年のためのテック・スキル・トレーニング

パートナー



国名：ケニア
セクター：NGO
介入学習者のオンボーディング・パイプライン、学習者へのメンターシップとコーチングの提供



国：ナイジェリア
セクター：労働力開発

介入訓練された技術系人材と雇用主とのインターンシップや仕事のマッチング、および学習者の持続的な自己成長と能力開発のためのメンターの紹介。



国：ケニア
セクター：アントレプレナーシップ、シビック・リーダーシップ
介入：学習者のパイプラインの構築、学習者へのメンターシップとコーチングの提供



国名：タンザニア
セクターイノベーション・ラボコワーキングスペースの提供

コミュニティ形成のための技術革新分野におけるエコシステム・イベントのキュレーション



国名：ナイジェリア
セクター：イノベーションハブ
介入技術フォーラムのキュレーション、没入型コミュニティイベント、イノベーションとインキュベーションの触媒



国：ケニア
セクター：トレーニング組織
コミュニティ・ネットワークのコンテンツ・マッピングと革新、コミュニティ主導のアクセス・イニシアチブの開発、PLPのコミュニティ・エコシステムの拡張



国名：ケニア
セクター：政府の介入
キリフィ郡の若者のための技術スキル、郡インターンシッププログラムの共同創設、雇用、助成金、企業支援の機会





教育は貧困から逃れる手段ではなく、貧困と闘う手段なのです。アフリカのナショナリズムは、同時に汎アフリカ主義でなければ意味がなく、危険で、時代錯誤です。
ムワリム・ジュリウス・ニエレレ

コンプライアンス、透明性、ガバナンスの事前登録要件

ケニアの非政府組織（NGO）は、1990年 NGO調整法第10条に基づき登録されています。したがって、登録されたすべてのNGOは、NGO法を熟知し、1992年に制定されたその付属規則を遵守する必要があります。非政府組織調整規則（1992年）第8条1項では、NGO法に従って登録を希望する団体は、まずNGO理事会理事に登録する名称の承認を求めなければならないと規定しています。1990年非政府組織調整法第10条によると、登録を希望する団体は、様式1、様式2、様式3、様式4に記入し、NGO委員会事務局長に提出しなければなりません。登録申請書は、申請団体の最高責任者が作成し、以下の事項を明記しなければなりません：

全役員の
組織の本社および住所
提案されている事業のセクター
地区、部門、活動提案場所。
年間平均予算案
活動期間
すべての資金源
国内および国際的な加盟団体と法人
設立証明書。

上記のように、提案された組織にフォーム1、フォーム2、フォーム3、フォーム4を記入させる主な目的は、以下のように要約されます：

規則第4条（1）は、NGO理事会の事務局長が第7条（b）非政府組織（Non-Governmental Organizations）を遵守していることを確認するために作成された様式1を規定しています。

NGO理事会は、ケニアで活動する国内および国際的な非政府組織の登録簿を、その活動分野、所属、活動場所とともに維持することを義務づけています。規則8(1)は、NGO理事会の事務局長が、提案された組織の名前検索を行い、1992年の付属規則33に従った所定の手数料を請求できるようにするために作成された様式2を規定しています。

規則10(2)は、NGO理事会の事務局長が、組織名、郵便住所、物理的住所、セクター別の分類、ケニアでの登録日を含む登録簿を作成することを義務づけている1990年非政府組織調整法第10条(3)を完全に遵守していることを確認するために作成された様式3および4の両方を規定しています。これらの書式により、NGO理事会の事務局長は以下の情報を把握することができます：

非政府組織の役員3名の個人情報および役員の
詳細
プロジェクトに対して主な財政的・物質的支援を提供する個人または団体の個人情報

組織の定款のコピー

ケニア国外での登録証明書／ケニアでの法人
設立証明書（該当する場合）

申請する団体の最高責任者が署名した、申請する団体の事務所所在地と郵便宛先の届出書（様式4）。

コンプライアンス、透明性、ガバナンス PLPの組織構造

PLPは、1990年に制定されたNGO調整法および1992年に制定された同規則に基づき、ケニアで登録された非営利団体です。2022年4月、ケニアにおける規制環境の遵守を確実にするため、登録証が授与されました。登録の時点で、PLPはNGOBケニアによって規定された登録前の要件だけでなく、理事会の要件も遵守していました。PLPの理事会は、理事長、書記、会計の3人の執行委員と4人の非執行委員からなる7人の理事で構成されています。PLPは、1992年のNGO調整規則に基づく定款によって規制される財団として登録されました。

多くのアフリカ諸国では、NGOやNPOの法的構造が明確に定義されていません。財団法人、社団法人、保証有限責任会社などの明確な区別はありません。NGOが採用する法的構造には様々な形があり、これによって法律の遵守が決まります。それぞれの法的構造には特定の任務と管轄権があります。採用する法的構造によって、ガバナンス構造が決まり、定款を使うか、協定覚書を使うかが決まります。アフリカのいくつかの国では非政府組織法（NGO法）が制定されていますが、まだ NGO法の起草過程にある国もあります。アフリカにおけるこのようなNGO法の状況は、地域的なスケーリングや登録プロセスに影響を与えます。財団法人や社団法人として登録を希望する団体は、定款を起草する際に以下のガイドラインを採用することができます。PLP定款はNGO理事会から提供されたガイドラインを採用しています。ガイドラインは以下の通りです：

- a) 団体名明記。
- b) 組織の主な目的と付随的な目的。
- c) 組織の収入と財産は、提供した役務に対する妥当な報酬を除き、会員や役員に分配できないこと。
- d) 組織が法人であり、そのメンバーや役員とは異なるアイデンティティと存在を持つための規定。
- e) 会員または役員構成が変更されても、組織が存続できるようにすること。
- f) 会員または役員が、会員または役員であることのみを理由として、組織の財産やその他の資産に対する権利を持たないようにすること。
- g) 組織の権限の明記
- h) ガバナンスのための組織構造とメカニズムを明記。
- i) 必要な定足数や議事録など、会議の招集と実施に関する規則を定めます。

- j) 意思決定の方法を決定します。
- k) 組織の財務取引が銀行口座によって行われること。
- l) 組織の会計年度の終了日を決定。
- m) 会則を変更するための手順を定めます。
- n) 組織の清算または解散の手続きを定めること。
- o) 組織が解散または清算される場合、すべての負債を支払った後に残った資産は、同様の目的を持つ他の非営利団体に譲渡されなければならないと規定すること。

社団法人として登録しようとする非営利団体の定款は、その業務を行うために必要な事項を規定するために、以下の事項を追加する必要があります：

- a) 組織の会員資格と入会資格を明記。
- b) c) 会員身分の終結について規定すること。
- d) 会員資格の喪失に対する不服申し立て、または会員資格の喪失に対する不服申し立ての規定
- e) 会員身分の終結、異議申し立ての手続き、異議申し立ての提出先の決定。
- f) g) 会員又は役職員が、会員又は役職員であることのみを理由として、この法人のいかなる義務及び負債についても責任を負わないこと。
- h) 役員を選任を規定し、それぞれの職務を定めること。
- i) 役員指名、選出、任命の手順を定めること。
- j) 役員が解任される状況と方法を定め、解任に対する不服申し立てを規定し、不服申し立ての手続きを定め、不服申し立てを行う機関を定めます。
- k) 組織の役員は、その役員が組織のために、または組織を代表して職務を遂行している間に善意で行った作為または不作為の結果、いかなる人が被った損失に対しても、個人的な責任を負わないことを規定すること。
- l) 投資を行うための規定
- m) 組織の資金を使用する目的を決定します；
- n) 資産の取得および管理に関する規定

コンプライアンス、透明性、ガバナンス行動規範ポリシー

行動規範の方針は、以下の事項を指導する方針です。組織、受益者、寄付者、一般市民との関係。9.11テロ以降、テロ組織によるNGOの悪用が経験的に証明されました。この理解に基づいて、2005年に透明性と説明責任を促進するための基準として、非営利組織の行動規範が課されました。NPOセクターに影響を与える倫理の原則は、民主主義がどのように運営されるかに不可欠なものです。また、公共財やサービスを提供する責任は、NGOセクターを説明責任、信頼性、正当性の問題に引き寄せています。PLPの核となる任務は、サービス提供、動員、アドボカシー、計画、ロビー活動、資金調達に要約されますが、NGOを運営する上で統一された標準的な運営構造はありません。倫理とグッドガバナンスの原則を推進する行動規範は、長期的に組織を維持することができる自己規制と標準化を強化するベストプラクティスであると解釈しています。

行動規範は、NPOに、組織のガバナンスを維持する能力も含め、NPOの業務を管理する能力があることを示すツールであると考えられています。行動規範には、登録前の要件の遵守と登録後の要件の遵守、そして自主規制の両方が含まれます。私たちは、私たちの組織がすべての関係者の最善の利益のために活動していることを確認するためには、優れたガバナンスの基準が最も重要であると考えています。そのために、関連するすべての内部方針を策定しています。PLPでは、優れた実践とガバナンスを促進することが重要だと考えており、そのため理事会は理事会プロセスの指針となる理事会憲章の策定に動きました。アフリカでは、政策というレンズの外側で組織を構築することは不可能であるため、非営利組織には政策立案者との積極的かつ積極的な関わりが必要です。法律や方針の遵守、資源の効率的かつ効果的な使用、資産の保護、財務情報の完全性の維持を目的とした、適切な内部統制システムが整備されています。内部方針は以下の通り：



コンプライアンス、透明性、ガバナンス行動規範ポリシー

PLP理事会の役割は、使命、ビジョン、法的義務に従って組織を統治することです。私たちの理事会は7人のメンバーで構成され、最高経営責任者は組織の正式メンバーではありません。理事会憲章によると、理事会は四半期ごとに会合を開き、パワー・ラーニング・プロジェクトの業務を指揮し、それが支払能力を持ち、適切に運営され、設立された目的を達成するための最終的な責任を負うことになっています。理事会の責任は:

- 戦略的な指示と監督を行うこと。
- 組織がグッドガバナンスと社会的責任の設定基準を確実に遵守すること。
- 資金調達の意思決定とドナーとの関係を担当すること。
- より大きなコミュニティおよび/またはNGOセクターにおける組織の代表となること。
- さまざまな地域/国における事業/プログラムの設定を承認すること。

取締役会は執行チームのメンバーに一定の責任を委任しており、取締役会業務の特定の機能に関する方針と指針を承認する委員会を通じて行使することができます:

監査委員会 開示委員

- 会 報酬方針
- 社内方針 - 贈収賄・汚職防止 内部告発およびマネーロンダリング防止 (AML)
-

取締役会全体として、取締役会の規模、構造、構成および規模を見直します。執行委員と一般委員の役割は、8つの中核的責任に要約されます: 道徳報告書を支持するために

- 財務諸表、年次決算、法定監査人の報告書を承認し、収入を配分する
- 地域理事会メンバーの選出
- 戦略計画および主要な戦略的組織開発の見直し
- 必要に応じて組織規約を改正すること
- 組織の倫理、方針、行動規範を承認する

特に不動産の購入や債券の発行など、組織の財政に大きな影響を与える例外的な財務上の決定を承認。

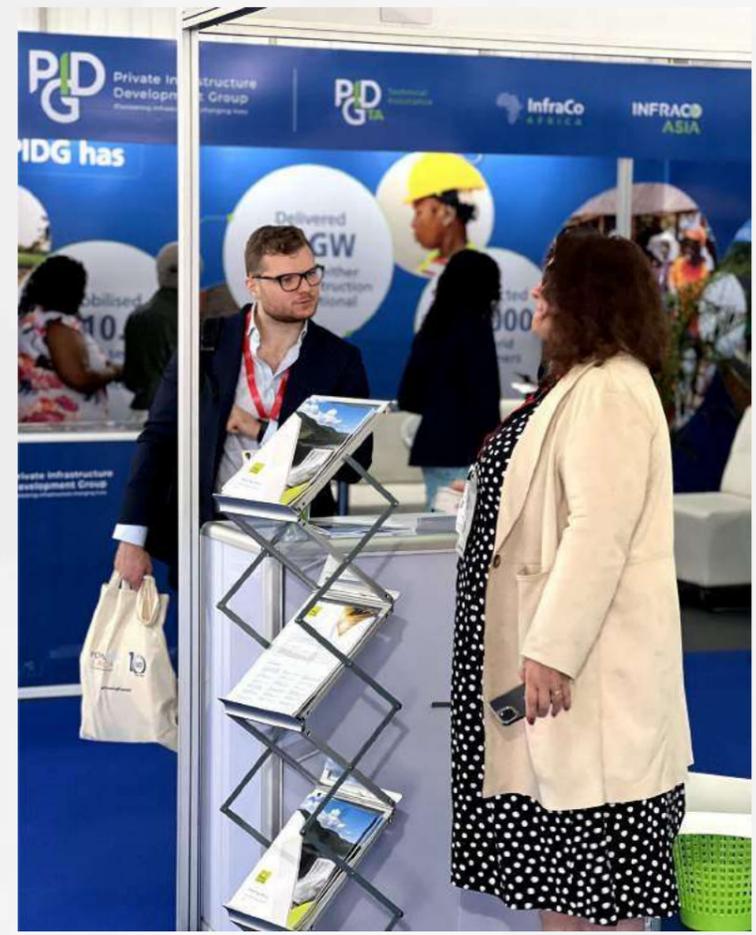
本部レベルおよび国レベルで、組織全体の法令遵守を監督すること。

理事会活動

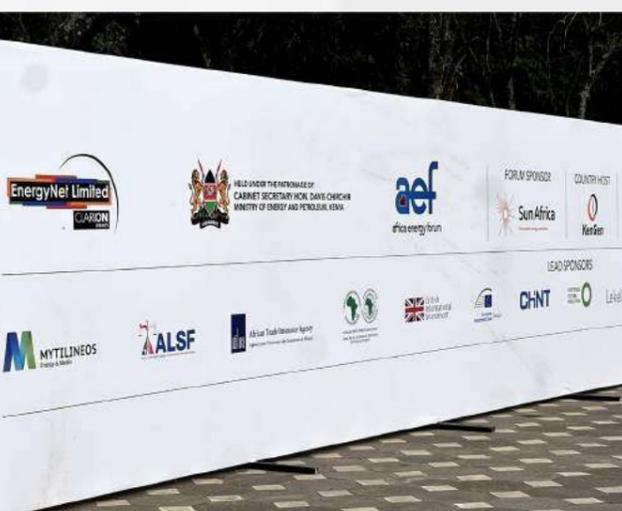
取締役会は四半期ごとに開催されます。年間を通じた取締役会の活動は、外部報告カレンダーと内部組織計画プロセスによって支えられています。年間アジェンダは、すべての重要なトピックに十分な注意が払われるよう計画されています。常任議題は、戦略の軸となり、取締役会に年間の進捗状況を一貫して示すものです。各取締役会の常任議題には以下が含まれます:

- 定足数
- 議事録の承認 (事前に全理事に回覧 および未解決事項のレビュー)。
- ガバナンスおよび委員会報告
主要な事業展開を含む会長からの報告。
- 財務および業務レビュー

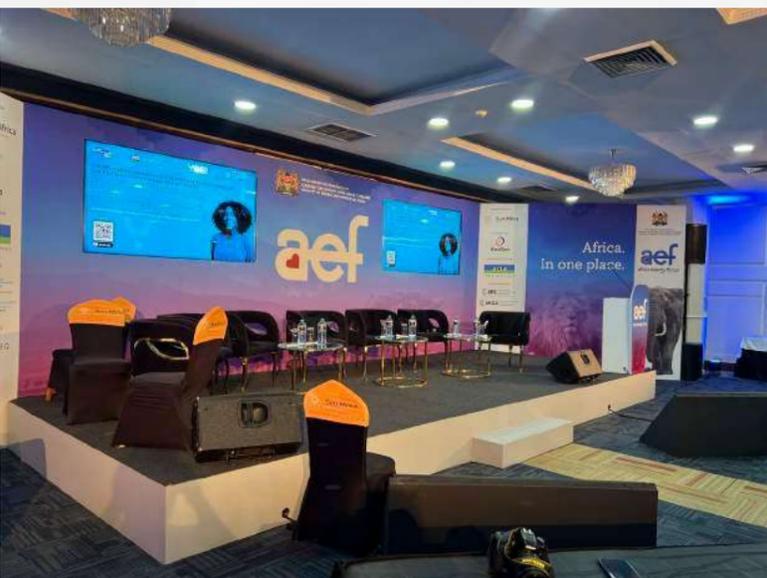
企業イベントのハイライト



企業イベントのハイライト



企業イベントのハイライト



お問い合わせ

WHATSAPP :

+254 700 611 875

パートナーシップ

partnerships@powerlearnproject.org

私書箱1447-00606 ケニア、ナイロビ

コミュニティ

talktous.community@powerlearnproject.org



www.powerlearnproject.org



info@powerlearnproject.org



[Power Learn Project](#)



[@plpafrika](#)



[Power Learn Project](#)



[@PLPAfrica](#)